平成24年度

福岡市美術館
活 動 の 記 録

Fukuoka Art Museum
Annual Report 2012

平成24年度

福岡市美術館
活 動 の 記 録

Fukuoka Art Museum
Annual Report 2012

目　　次

凡例 3

美術館の主要事業 4
- 美術館日誌 4
- 福岡市美術館リニューアル事業 5

展示活動 6
- 特別企画展 6
- 公募展 11
- 常設展 12
- 常設企画展 15
- 展覧会関連記事 16

教育普及活動 19
- こどもアートアドベンチャー 19
- 夏休みこども美術館 20
- つきなみ講座 22
- 開館記念事業 22
- 福岡ミュージアムウィーク 23
- 博物館実習 23
- 職場体験学習 24
- 読書室企画 24
- 協力事業 24
- ボランティア活動 25
- 出版物 29

調査研究活動 31
- 紀要の発行 31
- 館外調査 31

収集活動 32
- 美術資料 32
- 図書・映像資料 36

美術資料の修復・貸出 37
- 修復 37
- 貸出 37

施設の利用状況 39
- 展示室 39
- 講堂等 45

入場者数一覧 46

名簿 48

凡　例

本冊子は福岡市美術館の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの活動の記録である。ただし、展覧会の会期がその前後に渡るものも含む。また、期日を記した部分でH.24は平成24年の略字である。

主要展覧会の観覧者数の明細は「入場者数一覧」に別途記載している。展覧会の詳しい内容については印刷物として図録を刊行しているので、参照のこと。

「収集活動」の「美術資料」は平成24年度に本紙が財団法人福岡市文化芸術振興財団より購入したものである。データの寸法（法量）は、例えば平面作品の146.2×112.3は縦146.2、横112.3（イメージサイズ）で、立体作品の74.3×46.0×11.0は、高さ74.3、幅46.0、奥行き11.0で、単位はセンチメートルである。また、所蔵品番号の番号記号の意味は下記の通りである。なお、欠番の8と10は、加藤資料（8）および奥村資料（10）であったが、福岡市博物館の開館に伴い、平成3年3月31日に正式に移管した。

1　郷土作家[注1]		
2　日本作家		
3　海外作家		
4　黒田資料		
5　東光院仏教美術資料	A　油彩画等[注2]	
6　松永コレクション	B　日本画等[注3]	
7　太田コレクション	C　水彩等[注4]	
9　石村コレクション	D　素描	
11　森山コレクション	E　版画	
12　三宅コレクション	F　写真	作品番号
13　山崎朝雲資料	G　彫刻等[注5]	
14　一般古美術資料	Ha~Hf　工芸[注6]	
15　研究資料	I　書跡	
16　西本コレクション	J　文書	
17　本多コレクション	K　その他	
18　クスマコレクション		
19　藤森静雄資料		
20　森田コレクション		
21　川村コレクション		

例）1-A-452 → 郷土作家・油彩画・452番

注

1. 九州および山口県、沖縄県の出身・在住作家。
2. A（油彩等）の分類には、大きさの形状から油彩画と同等と思われる作品も含む。すなわちアクリル絵具による絵画、複数の技法の併用による作品、レリーフ、コラージュ、布・紙・金属等の特殊な素材による作品も含む。立体の付属物があっても正面から観賞される壁面展示の作品、版画技法を用いていても1点制作である作品、素描であってもその大きさや表現が油彩画に匹敵すると思われる作品もまたAに分類した。
3. B（日本画等）の分類には、伝統的な素材・技法・形状による中国や朝鮮の絵画も含む。
4. C（水彩等）の分類には、パステルなどの多色を基調とする作品も含む。
5. G（彫刻等）の分類には、オブジェ、インスタレーションなどの立体作品も含む。
6. H（工芸）は素材別に枝番号を付した。陶磁器はHa、漆工はHb、金工はHc、染織はHd、刀剣はHe、その他はHfとした。

美術館日誌

平成24年

5月 10日（木）	美術資料寄贈者に対する感謝状贈呈式
5月 12日（土）	第4回ミュージアムウィーク（5月20日まで）
5月 16日（水）	美術資料収集審査会（古美術）
6月 19日（火）	「ユベール・ロベール」（7月29日まで）
7月　1日（日）	夏期の開館時間延長開始（8月31日まで）
7月　4日（水）	平成24年度第1回美術館協議会
8月 21日（火）	「日本画の巨匠たち」（9月23日まで）
8月 31日（金）	美術資料収集審査会（近現代美術）
10月　6日（土）	「大英博物館　古代エジプト展」（11月25日まで）
11月　3日（土）	開館記念日につき常設展観覧料無料
11月　3日（土）	開館記念事業　図録フェア（11月4日まで）
11月 15日（木）	美術資料収集審査会（古美術）
12月 28日（金）	仕事納め

平成25年

1月　4日（金）	仕事始め
1月　5日（土）	「福岡現代美術クロニクル」（2月11日まで）
1月 23日（水）	美術資料収集審査会（近現代美術）
3月　1日（金）	「第47回福岡市美術展」入賞・入選者発表
3月 12日（火）	「第47回福岡市美術展」開催（3月24日まで）
3月 12日（火）	平成24年度第2回美術館協議会
3月 17日（日）	「第47回福岡市美術展」表彰式

「第47回福岡市美術展」表彰式

図録フェア

福岡市美術館リニューアル事業

福岡市美術館リニューアル基本計画の策定

・平成23年度に策定した「福岡市美術館リニューアル基本構想」を踏まえ、福岡市美術館リニューアル協議会を平成24年9月28日に開催し、福岡市美術館リニューアル基本計画（案）をまとめた。
・平成24年11月21日市政運営会議において、福岡市美術館リニューアル基本計画を策定。
（以下、基本計画　抜粋）

■リニューアルの方針　～「つなぐ、ひろがる美術館をめざして」～

施設・設備の老朽化・機能低下、バリアフリーへの対応不十分、利便施設の魅力不足など、さまざまな課題を解決するため、施設・設備の全面改修を実施。また、広報・集客・誘導機能の弱さなどを克服するため運営の刷新を行い、ハード、ソフト両面でのリニューアルを実施。

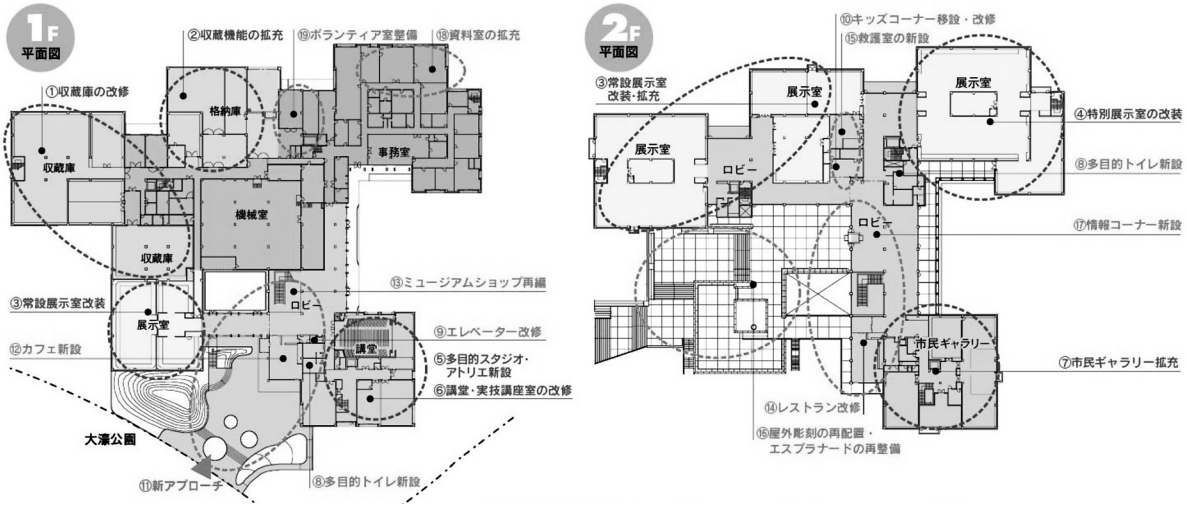
■施設の改修計画と諸室構成

1　作品と観覧者をつなぐ“基本性能”
設備・機器の更新とともに、以下の諸室を再編・拡充
①収蔵庫の改修
②収蔵機能の拡充（格納庫の収蔵庫化）
③常設展示室改装・拡充
④特別展示室の改装

2　美術体験と来館者をつなぐ“教育普及機能”
市民参加を促進するギャラリーやスタジオの拡充・新設
⑤多目的スタジオ新設⑥講堂・実技講座室の改修
⑦市民ギャラリー拡充

3　やさしさと楽しさがひろがる“対応力・魅力”
施設のユニバーサル化と利便施設の魅力向上
⑧多目的トイレ新設⑨エレベーター改修
⑩キッズコーナー移設・改修⑪新アプローチ⑫カフェ新設
⑬ミュージアムショップ再編⑭レストラン改修⑮救護室の新設
⑯エスプラナードのガーデン化

4　連携と交流がひろがる“発信力・共働力”
情報発信力とプロモーション、連携の強化、市民共働など
⑰情報コーナー新設⑱資料室の拡充
⑲ボランティア室の整備



■運営計画と事業手法

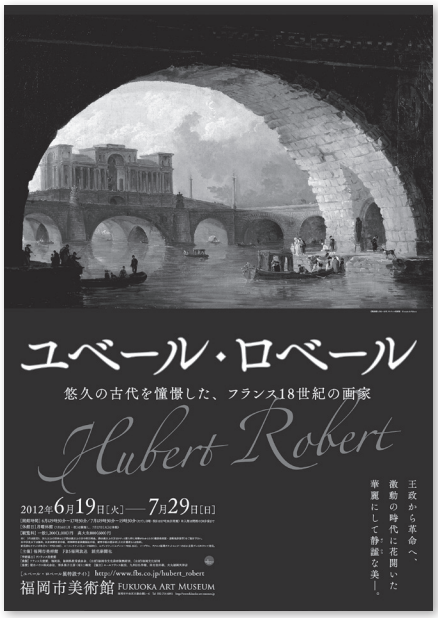
運営の効率化と魅力向上の両立をはかるため、民間事業者への業務委託一元化、委託範囲の見直し、運営のスリム化などを検討し、従来方式だけでなく民間共働による手法を検討。

福岡市美術館リニューアル事業へむけた先行工事など

・将来予定しているリニューアル工事に先駆けて、施設の基礎調査を行った。
・リニューアル工事期間中の当館所蔵品の保管場所として、また、リニューアル後の収蔵庫として、既存建物の一部を改修し収蔵庫化する工事に着手した。

特別企画展

ユベール・ロベール展



ポスターB2

会場風景

会　　期　平成24年6月19(火)～7月29日(日)
会　　場　特別展示室A
内　　容　空想的風景画や廃墟画を描き「廃墟のロベール」とも呼ばれたフランス18世紀の画家ユベール・ロベール(1733-1808)。古代旧跡などさまざまなモチーフを組み合わせた空想的風景画で一世を風靡したこの画家の日本初となる展覧会。フランスのヴァランス美術館が所蔵するロベールコレクションを中心に、日仏両国から集めた約130点を一堂に展示した。
出品点数　129点
主　　催　福岡市美術館、FBS福岡放送、読売新聞社
学術協力　ヴァランス美術館
後　　援　フランス大使館、福岡県、福岡県教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、(公財)福岡文化財団
協　　賛　積水ハウス(株)、博多菓子工房　(有)二鶴堂
協　　力　エールフランス航空、九州日仏学館、祥文社印刷、大丸福岡天神店
観 覧 料　一般1,200円(1,000円)、高大生800円(600円)
※(　)内は前売り、20名以上の団体および満65歳以上の方の割引料金
※以下は観覧無料
中学生以下。身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者一名。特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特性疾患医療受診券提示者。
開催日数　36日間
観覧者数　17,608人
印 刷 物　【ポスター】B2、B3
【チラシ】A4
【図録】248×204mm・311頁

展覧会担当：正路佐知子

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
6月30日(土)	記念講演会 「ユベール・ロベール、その生涯と作品」	14:00～15:30	講師：小柳由紀子氏 （美術史家、西南学院大学非常勤講師、九州日仏学館講師） 聴講者数：168人	講堂
7月22日(日)	記念演奏会 「18世紀の音楽の楽しみ」	14:00～15:30	演奏者：福岡ハイドン弦楽四重奏団 聴講者数：200人	講堂

岡倉天心没後100年記念　近代から現代へ　日本画の巨匠たち
―名作でたどる日本美術院のあゆみ―

ポスターB2

会場風景

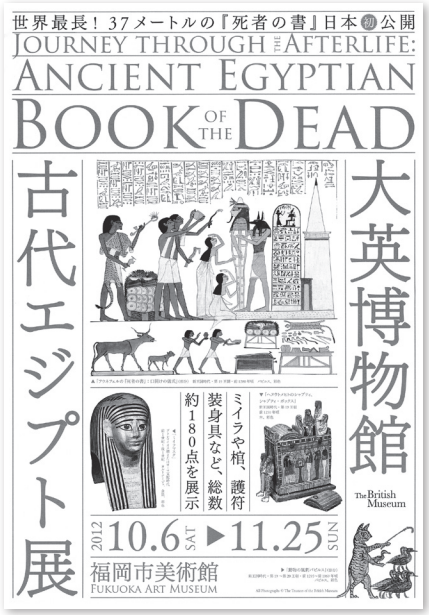
会　　期　平成24年8月21日(火)～9月23日(日)
会　　場　特別展示室A
内　　容　明治31(1898)年に岡倉天心によって創立された日本美術院の歴史を振り返る展覧会。菱田春草《水鏡》、横山大観《流燈》、下村観山《闇維(くらい)》といった草創期の日本美術院を代表する作品、大正3(1914)年に再興された日本美術院に参加した今村紫紅《近江八景》(重要文化財)など再興日本美術院の自由な気風を感じさせる作品から現・日本美術院理事長である松尾敏男が師の堅山南風を描いた《南風先生像》に至るまで、国内23カ所から出品された作品68点(絵画60点、書2点、彫刻1点、資料5点)を通じて日本美術院の歴史を回顧した。岡倉天心自筆の書額や天心作詞の「日本美術院院歌」(横山大観書)、天心と歴代の同人を描いた平山郁夫の異色作《日本美術院血脈図》などを展示して創立者・岡倉天心を記念するコーナーを冒頭に設け、現代にまで継承される日本美術院の精神を印象づける展示の構成を試みた。
出品点数　68点(35作家)
主　　催　福岡市美術館、西日本新聞社、テレビ西日本
TVQ九州放送
協　　力　日本美術院
協　　賛　福岡トヨペット
後　　援　福岡県、福岡県教育委員会、(公財)福岡市文化芸術財団、西日本リビング新聞社、cross fm、FM FUKUOKA、LOVE FM、西日本鉄道、九州旅客鉄道、(一社)日本自動車連盟福岡支部、(社)福岡タクシー協会、福岡商工会議所、西日本文化サークル連合、西日本新聞TNC文化サークル
観 覧 料　一般1,300円(1,100円)、高大生800円(600円)
小中生500円(300円)
回数券2回券2,000円
※(　)内は前売り、20名以上の団体および満65歳以上の方の割引料金
※以下は観覧無料
身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者一名。特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特性疾患医療受診券提示者。
開催日数　30日
観覧者数　39,760人
印 刷 物　**【ポスター】**B1、B2、B3　**【チラシ】**A3変形、変形3つ折り
【図録】A4変形・152頁

展覧会担当：吉田暁子

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
8月21日(火)	**記念講演会** **「日本美術院の精神」**	14:00～15:30	講師：松尾敏男氏(日本美術院同人、理事長) 聴講者数：120人	講堂
8月26日(日)	**関連セミナー** **「巨匠と名作―その理由(わけ)をひもとく」**	14:00～15:30	講師：山本香瑞子氏(静岡市美術館学芸員) 聴講者数：65人	教養講座室
9月1日(土)	**記念講演会** **「名作でたどる日本美術院の歴史」**	14:00～15:30	講師：古田亮氏(東京藝術大学大学美術館准教授) 聴講者数：120人	講堂

大英博物館　古代エジプト展



本チラシA4　3つ折り

会場風景

会　　期　平成24年10月6日（土）～11月25日（日）
会　　場　特別展示室A
内　　容　永遠の生命を信じた古代エジプトの人々を、1500年の長きにわたって来世に導いた『死者の書』に焦点を当て、最新の研究成果を盛り込んだ、新しい切り口のエジプト展を開催。『死者の書』の記述をもとに、世界屈指の大英博物館のエジプトコレクションにより、ミイラや棺、護符、装身具などで古代エジプト人の来世への旅路を追体験する構成とした。37mと世界最長の『死者の書』である「グリーンフィールド・パピルス」の全容が日本で初めて公開された。
出品点数　177点
主　　催　福岡市美術館、大英博物館、朝日新聞社、NHK福岡放送局、NHKプラネット九州
後　　援　外務省、ブリティッシュ・カウンシル、（公財）福岡市文化芸術振興財団、西日本鉄道、九州旅客鉄道、一般社団法人日本自動車連盟福岡支部、NEXCO西日本九州支社、（社）福岡県タクシー協会、（社）福岡市タクシー協会、NHK文化センター
協　　賛　三菱商事、大伸社
協　　力　日本航空
観 覧 料　一般1,500（1,300）円　高大生1,000（800）円
小中生500（400）円
※（　）内は、前売り及び20名以上の団体料金
※満65歳以上の方は前売り一般料金
※以下は観覧無料
身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者一名。特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特性疾患医療受診券提示者。
開催日数　44日間
観覧者数　104,600人
印 刷 物　**【先行ポスター】**B2、B3
【本ポスター】B1、B2、B3
【先行チラシ】A4
【本チラシ】A3＋A4　3つ折り
【ジュニアガイド】A4　4つ折り
【図録】A4変形・160頁＋66頁（《グリーンフィールド・パピルス》挿絵解説）

展覧会担当：岩永悦子

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
9/8（土） 9/9（日）	**プレイベントワークショップ 古代エジプトサンドペインティング～砂で彩る『死者の書』**	両日とも 9:00～15:00	講師：椿AKO（美術家）　参加者数：700人	福岡縣護国神社
10/6（土）	**記念講演会 「古代エジプトにおける死ー思い描いた来世と現実」**	14:00～15:00	講師：ニール・スペンサー（大英博物館　古代エジプト・スーダン部長） 事前応募による申込受付　参加者数：196人	講堂
10/28（日）	**記念演奏会 「弦で楽しむ　エジプト・英国ゆかりの音楽」**	14:00～	福岡ハイドン弦楽四重奏団オータムプロムナードコンサート 出演：福岡ハイドン弦楽四重奏団 事前応募による申込受付　参加者数：190人	講堂

ボルドー　―ワインから生まれた文明

リーフレット

会　　期　平成24年11月1日（木）～12月9日（日）
会　　場　福岡市総合図書館ロビー
内　　容　福岡市とフランス・ボルドー市の姉妹都市締結30周年を記念した展覧会。パリと並んでボルドー市が国際的知られるのは、その都市名が古くからワインと結びついているからである。本展では、ワインをキーワードに、ボルドー市内の美術館、博物館の所蔵する複製版画、油彩、写真、映像など12点を展示。作品を通してボルドーの歴史をたどった。
出品点数　12点
主　　催　福岡市美術館、ボルドー市
観 覧 料　無料
開催日数　31日間
観覧者数　174,105人
印 刷 物　【リーフレット】

展覧会担当：Annick Bruder（ボルドー市）
山口洋三

福岡現代美術クロニクル1970－2000

ポスターB2

会場風景

会　　期　平成25年1月5日（土）～2月11日（月）
会　　場　福岡市美術館、福岡県立美術館
内　　容　福岡市美術館、福岡県立美術館が企画段階から連携し、2館同時開催を行う初の共同企画展。福岡の現代美術といえば前衛美術集団「九州派」が知られているが、1970年代になって次世代の作家たちが新たな活動を模索し始めたことで、福岡の美術状況が40年後の現在につながる重要な段階に入っていったことは見落とされてきた。本展では、70年代に活動を始めた作家から、現代につながる新たな動向を代表する作家まで、85作家の作品139点を展観した。
出品点数　139点（2館合わせて）
主　　催　福岡市美術館、福岡県立美術館
助　　成　公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団、公益財団法人福岡文化財団
後　　援　西日本新聞社、朝日新聞社、読売新聞西部本社、毎日新聞西部本社、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、FBS福岡放送、TNCテレビ西日本、TVQ九州放送、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団
観覧料（2館共通）　一般1,200円（1,000円）
高大生700円（500円）
※（　）内は20名以上の団体および満65歳以上の方の割引料金
※以下は観覧無料
中学生以下。身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者一名。特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特性疾患医療受診券提示者。教員引率による児童・生徒および教員、会期中土曜日来館の高校生以下の方。
開催日数　33日間
観覧者数　9,240名（福岡市美術館5,935人、福岡県立美術館3,308人）
印刷物　【ポスター】B2　【チラシ】A4（2種）
【図録】A4・204ページ

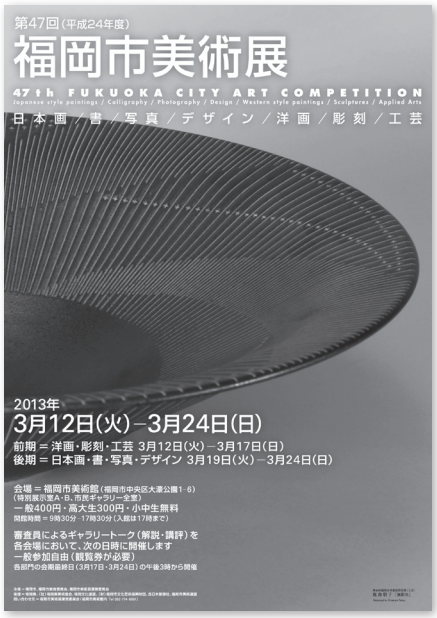
展覧会担当：山口洋三
竹口浩司（福岡県立美術館）

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
1月5日（土）	記念シンポジウム「福岡の現代美術、1970年代以降を回顧する」	14:00～17:00	講師：深野治（ジャーナリスト）、山野真悟（黄金町バザール・ディレクター）、岡部昌生（美術家）、後小路雅弘（九州大学大学院教授）、川浪千鶴（高知県立美術館学芸課長）、小嶋一頭（株式会社千草　代表取締役社長）、佐藤恵一（IAF Shop代表）　聴講者数：242人	福岡市美術館講堂
①1月19日（土） ②1月27日（日）	福岡アートバスツアー	①13:30～15:30 ②13:30～16:00	福岡市内の新旧ギャラリーを訪問し、関係者の話を聞いた。 ①行程：福岡県立美術館→ギャラリーとわーる→ギャラリーおいし→WALD ART STUDIO→art space tetra　参加者数：14人 ②行程：福岡市美術館→アートスペース貘→IAF Shop→不思議博物館　参加者数：19人	
2月2日（土）	パフォーマンス再現	16:30～	作家：高向一成　参加者数：93名	福岡県立美術館1階彫刻展示室
2月2日（土）	80年代実験映画上映会	14:00～	①「パーソナルフォーカス　アンソロジー」　参加者数：37人 ②実験映画9本［松本俊夫・伊藤高志・森下明彦］　参加者数：23人	福岡県立美術館視聴覚室
2月10日（土）		①10:00～ ②14:00～	①「パーソナルフォーカス　アンソロジー」　参加者数：57人 ②実験映画9本［松本俊夫・伊藤高志・森下明彦］　参加者数：84人 解説：①宮田靖子（フィルム・メーカーズ・フィールド主宰）②森下明彦（映像作家）	福岡市美術館講堂
2月9日（土）	映像ワークショップ「あなたもつくろう実験映像!」	13:30～15:30	講師：宮田靖子（フィルム・メーカーズ・フィールド主宰） 参加者：22人	福岡市美術館教養講座室、講堂

公募展

第47回 福岡市美術展



ポスターB2

ギャラリートークの様子

会　　期　平成25年3月12日(火)～3月24日(日)
前期(洋画、彫刻、工芸)　3/12~3/17　6日間
後期(日本画、書、写真、デザイン)　3/19~3/24　6日間

会　　場　特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D

内　　容　美術の各分野における市民の創造活動を促進し、その成果の発表と鑑賞の機会を提供することにより、市民の美術活動の振興を図ることを目的に毎年開催している公募展。今回は、洋画等7部門で、1,107人(1,321点)の応募があり、内647人(655点)が入選。このうち、市長賞など入賞は58人(58点)であった。

出品・入賞・入選状況

区　分		日本画	洋画	彫刻	工芸	書	写真	デザイン	計
出品(応募)人数		44	238	25	68	251	365	116	1,107
出品(応募)点数		46	315	26	78	257	481	118	1,321
展示点数	入賞・入選	31	167	17	50	160	170	60	655
	招待・審査員	4	6	5	4	6	5	6	36
	計	35	173	22	54	166	175	66	691

入 賞 者　(1)福岡市美術展特別賞1点
(2)市長賞7点
(3)市議会議長賞2点、福岡市美術連盟賞1点、市教育委員会賞1点、福岡文化連盟賞1点、福岡市文化芸術振興財団賞1点、西日本新聞社賞3点、福岡県美術協会賞1点
(4)福岡県美術協会奨励賞2点、福岡市美術連盟奨励賞2点
(5)奨励賞36点(日本画部門1点・洋画部門8点・彫刻部門1点・工芸部門2点・書部門6点・写真部門14点・デザイン部門4点)

出品点数　691点

主　　催　福岡市、福岡市教育委員会、福岡市美術展運営委員会

後　　援　福岡県、(公社)福岡県美術協会、福岡文化連盟、(公財)福岡市文化芸術振興財団、西日本新聞社、福岡市美術連盟

観 覧 料　一般400円　高大生300円
※中学生以下、障がい者手帳所持者は無料

開催日数　12日

観覧者数　5,847人

印 刷 物　【ポスター】B2(2種)　【開催要項】A3二つ折り
【図録】A4変形・46頁

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
3月17日(日) 3月24日(日)	ギャラリートーク	15:00～	審査員によるギャラリートーク(解説、講評)を開催。 参加者数：約750人 3月17日(日)：洋画(250人)、彫刻(30人)、工芸(40人) 3月24日(日)：日本画(30人)、書(50人)、写真(300人)、デザイン(50人)	展示会場
3月1日(金)	入賞・入賞者発表			1Fロビー
3月17日(日)	表彰式			講堂

常設展

日本画工芸室

■冨田溪仙展　平成24年3月27日(火)～5月20日(日)

京都で絵画修業を積み、院展や文展を主な舞台として活動した博多出身の日本画家冨田溪仙(1879-1936)の作品から、《御室の桜》など6点を展示した。(吉田)

■コレクションミックス3　裸形(らぎょう)

平成24年5月29日(火)～7月16日(月・祝)

古美術・近現代美術という区分を横断して所蔵品を紹介するシリーズ展示として、裸形で人体を表現した作品の多様な表現とその背景にある価値観に注目した。古美術から《酔李白》、《ビーナス像》など10点、近現代美術からネオダダのメンバーによる街頭パフォーマンスの記録写真など16点を展示。(吉田)

山内重太郎《サビツイタ裸女》1957年

■九州の日本画家たち　平成24年7月18日(水)～9月2日(日)

当館が所蔵する九州ゆかりの日本画家たちによる作品、特に戦後の作品を中心に12点を展示した。出品作家：石田耕古、上田宇三郎、久野大正、井上三綱、甲斐巳八郎、蓮尾辰雄、小栗潮、相嶋崇人、吉本尚二、松永冠山。(正路)

松永冠山《糸島風景》制作年不詳

■伊藤深水・小早川清展　平成24年9月4日(火)～10月21日(日)

鏑木清方に学び、美人画の名手として知られた伊藤深水の版画12点、日本画1点と小早川清の日本画7点、版画12点を展示した。(山口)

■山崎朝雲とその系譜

平成24年10月23日(火)～平成25年1月20日(日)

東公園の「亀山上皇像」の作者として知られる福岡市出身の彫刻家、山崎朝雲(1897-1987)は、彫師・高村光雲に学び、橋本朝秀(1899-1960)、早川朝洋(1886-1960)、冨永朝堂(1897-1987)ほか多くの弟子を育て、朝堂のもとには豊福知徳(1925-)が学んだ。朝雲と、彼に関わりの深い彫刻家の作品を展示した。(山口)

山崎朝雲《明の封冊》1908年

■漫画じゃない!?　平成25年1月22日(火)～3月31日(日)

「漫画的」な表現は美術の中に溢れている。深刻なテーマなのにどこかユーモアあふれる作品や、画家の意図とは裏腹になぜか漫画に見えてしまうイメージの作品などを通して、美術におけるイメージについて考えた。所蔵品23点の他、寄託作品1点、借用作品1点で構成。(山口)

小作品室

■片山摂三展　平成24年3月27日(火)～5月20日(日)

片山摂三(1914-2005)は、福岡市内で写真館を経営しながら、旺盛な写真家としての活動を行った。仏教彫刻写真、画家や文筆家などの肖像写真、そして当館で開催されたヘンリー・ムーア展(1986)の記録写真合計23点を展示した。(山口)

■吉原英雄の版画　平成24年5月29日(火)～7月16日(月・祝)

具体美術協会結成時の会員かつ最初の脱会者であり、デモクラート美術家協会にも参加した吉原英雄(1931-2007)は、その後独自の版画表現に辿り着き、日本を代表する版画家として活躍した。銅版画とリトグラフを併用した1950～70年代の版画作品19点を紹介した。(正路)

■浜田知明展　平成24年7月18日(水)～9月2日(日)

熊本出身の版画家・彫刻家、浜田知明(1917-)の版画作品として、戦争や現代社会に対する鋭い批判精神を映し出す初期の代表作や、ヨーロッパの歴史的モティーフに取材した作品など25点を展示した。(吉田)

■ケーテ・コルヴィッツ展(西本コレクション)

平成24年9月4日(火)～10月21日(日)

ドイツの女性芸術家ケーテ・コルヴィッツ(1867-1945)。社会的弱者や労働者の姿を赤裸々に表わし、波乱の人生を歩んだ自身の共感も重ねられたその版画作品は、観る者に社会と美術についての再考を促す。版画連作『農民戦争』『戦争』『プロレタリアート』『死』などから、コルヴィッツ版画作品18点を紹介した。(正路)

ケーテ・コルヴィッツ
《突撃(農民戦争-5)》1903年

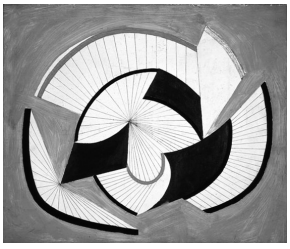
■画家と自画像　平成24年10月23日(火)～平成25年1月20日(日)

近代の画家たちは、自画像を多く残している。本展では、中村彝、村山槐多、レオナール・フジタ、平野遼、マックス・ベックマンなどが、自らの姿を描いた絵画や素描など17点を特集した。(渡抜)

■時代でみる美術Ⅳ　1930年代

平成25年1月22日(火)～3月31日(日)

所蔵品を年代別に紹介するシリーズ展示として、1930年代に制作された作品22点を展示した。出品作家：アレクサンドル・ロトチェンコ、恩地孝四郎、藤森静雄、小穴隆一、冨永朝堂、山口正城、村井正誠、吉原治良。(吉田)



吉原治良《作品》1936年頃

企画展示室

■内なる風景、景色の形　平成24年3月27日（火）～5月20日（日）

画家の心のなかで醸成された幻想の風景、画家の創意のもと形を変え表わされた景色、目に見えないものが託された自然。風景画というジャンルにはおさまりきらない「風景」に関連する作品を集め、現代の画家たちの風景観そして空間の捉え方に着目した。櫃田伸也、野見山暁治、松本英一郎、日高理恵子ほかの作品21点で構成。（正路）

日高理恵子《樹の空間からⅣ》1998年

■児島善三郎と独立美術協会

平成24年5月29日（火）～7月16日（月・祝）

2012年に没後50年を迎えた福岡市出身の洋画家・児島善三郎（1893-1962）は、「独立美術協会」の中心的画家として活躍し、日本的な洋画の確立に尽力した。彼の主要な油彩画9点（内寄託作品4点）と、独立美術協会に属した画家たちの油彩画14点を展示した。（山口）

■夏休みこども美術館2012
こどもギャラリー「そら・うみ・かぜ―菊畑茂久馬（きくはたもくま）の絵―」

平成24年7月18日（水）～9月2日（日）

P.20の教育普及活動欄を参照のこと。

■超リアル!　平成24年9月4日（火）～10月21日（日）

細部まで克明に描写した絵画や現実世界の不可思議な側面を浮かび上がらせるシュルレアリスムの作品など、現実世界との関係を過激に追求する作品に注目し、24点を展示した。（吉田）

■西本コレクション展

平成24年10月23日（火）～平成25年1月20日（日）

和歌山市の収集家、西本宏氏が当館に寄贈した1500点以上の作品の中から、代表的な作品（油彩、版画など）20点を選び、2012年4月に急死した西本氏を偲んだ。コレクション内容と人柄が結びついた奇跡のコレクションのエッセンスを展示した。（山口）

■線のかさなり　平成25年1月22日（火）～3月31日（日）

ペンと紙さえあればたやすく引くことのできる「線」。しかしそれらの集積は、時に現実に肉薄し、時には目に見えないものまでえぐり出し、空間の奥行きや拡がりを生み出す。本展では、線によって紡ぎ出される世界に焦点を当て、素描、油彩、彫刻など全25点で構成した。出品作家:池田龍雄、川原田徹、藤野一友、木下晋、世良京子、田中敦子、草間彌生、マーク・トビー、鷲見康夫、上前智祐。（正路）

古美術企画展示室

■新収蔵品展　平成24年4月3日（火）～5月20日（日）

塼仏を中心とした仏教美術コレクター川村俊雄氏の第4次寄贈によるモンゴル・中国の塼仏およびその関係資料をはじめ、インドネシアの染織品、カンボジアの織道具など、平成23年度に福岡市美術館に新たに収蔵された古美術品より143件を公開した。（後藤）

ヤマーンタカ塼仏　モンゴル　17-18世紀

■田中丸コレクション　九州古陶の美

平成24年4月3日（火）～5月20日（日）

卓越した九州古陶磁の蒐集で知られる田中丸コレクション。そのうち唐津・高取・上野・八代・薩摩・現川などの陶器203件が、福岡市美術館に寄託されている。その中から古唐津の名品19件を選んで展示した。（後藤）

■本多コレクション名品展
インドシナ半島の陶磁と交趾焼

平成24年5月29日（火）～7月8日（日）

当館所蔵の古美術の一角をなす本多コレクションは、大阪の医師・本多弘夫妻によって寄贈された、東南アジア古陶磁の一大コレクションである。その内容は、タイ、ベトナム、カンボジアの陶磁や、交趾焼を核に構成されている。本店では、それぞれから精選した優品83件を展示した。（後藤）

青磁刻花蓮華文稜花盤
タイ　15世紀

■みやこの絵師　平成24年7月10日（火）～9月9日（日）

千年の都・京都は、政治の中心が江戸にうつった後にも、さまざまな絵師が京都の画壇を彩ってきた。本展では、土佐光起が再興した土佐派や、丸山応挙が主導した円山四条派などの流れをくむ絵師の作品を中心に、15点展示した。（岩永）

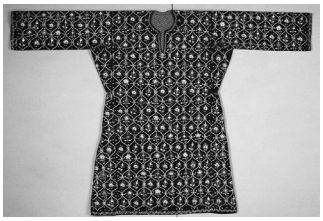
土佐光起《源氏物語図屏風》江戸時代

■仙厓展　平成24年9月11日（火）～10月28日（日）

仙厓は江戸時代、博多・聖福寺の住持となった禅僧で、生涯に多くの書画を残している。今回は「禅の笑い・慈悲のほほえみ」と「無垢の笑い・人生の泣き笑い」の2つのコーナーにわけ、ユーモア表現の違いに視点をあてて38点を展示した。（中山）

■クスマ・コレクション展

平成24年10月30日（火）～12月27日（木）



格子折枝文様刺繍チュニック
スマトラ島パレンバン

嫁ぎ先のインドネシアで、長年バティックの収集に携わってきた世界的コレクター、エイコ・アドナン・クスマ氏が2011年逝去された。クスマ氏への追悼を込めて、当館所蔵のクスマ・コレクションから、ジャワ島のバティックとスマトラの染織の代表作、32点を展示した。（岩永）

■九州古陶磁名品展

平成25年1月5日（土）～2月3日（日）

福岡市美術館に寄託されている田中丸コレクションと、寄贈・購入によって当館に所蔵されている九州古陶磁から、代表的作品を集めた九州古陶磁の名品展を開催。唐津・高取・現川・伊万里・柿右衛門様式など48件。（後藤）

松永記念館室

■春の名品展

平成24年4月3日（火）～5月20日（日）

伝・俵屋宗達筆「雄鶏図」「雌鶏図」、黒織部筒茶碗　銘「さわらび」、志野あやめ絵鉢など、生命感に満ちた春から初夏の季節を彩るのにふさわしい作品18点を展示した。（岩永）

■高僧と名刹（めいさつ）

平成24年5月29日（火）～7月8日（日）

耳庵・松永安左エ門は茶人として知られているが、そのコレクションには仏教美術の名品が数多く含まれている。茶掛としても珍重される高僧の墨蹟のほか、法隆寺、東大寺、醍醐寺、高山寺など、日本を代表する古刹ゆかりの名品を中心に17点展示した。（岩永）

■松永コレクションの中国美術

平成24年7月10日（火）～9月9日（日）

松永コレクションから、中国美術の代表的作品を選んで展示した。伝・牧谿の作をはじめとする絵画作品、唐～宋期を中心とする陶磁器、さらに中国の原始・古代の土器や青銅器など、20点。（後藤）

■秋の名品展

平成24年9月11日（火）～10月28日（日）

秋の茶道具にふさわしい作品を中心に、松永コレクションの名品を紹介。尾形乾山「花籠図」（重要文化財）、伝・俵屋宗達「月に竹蔦図屏風」のほか、侘びた風情を備える朝鮮王朝時代の陶磁器など、14件を展示。（後藤）

■大英博物館展関連企画　コプト裂と西方文物

平成24年10月30日（火）～12月27日（木）

この時期に福岡市美術館で開催予定の特別展「大英博物館　エジプト美術展」にあわせて、コプト裂および西アジア・ヨーロッパ地域の古美術作品を、松永コレクションの作品を中心に紹介（26件）。（後藤）

■新春名品展

平成25年1月5日（土）～2月24日（日）

耳庵・松永安左エ門は新春の茶席に、必ず伝・本阿弥光悦書、伝尾形光琳筆の「金銀泥梅花図」と古雲筒鶴茶碗を用いてきた。ひとしおの思い入れがあった初期の収集品であるこの二点のほか、初春にふさわしい茶道具全19点を展示した。（岩永）

■耳庵の茶碗

平成25年2月26日（火）～3月31日（日）

福岡市美術館に収蔵される松永コレクションの茶碗は、計19点を数える。日本、中国、朝鮮半島それぞれの優品を揃えたそれらの茶碗を全て一同に展示するという、開館以来初めての試みであった。（後藤）

東光院仏教美術室

■東光院の仏画―涅槃図ほか

平成25年2月26日（火）～3月31日（日）

涅槃会（ねはんえ）の時節にちなみ、仏涅槃図をはじめとする東光院伝来の仏画を3点、コーナー展示にて紹介。（後藤）

近現代美術室

■世界・日本・九州の美術―20世紀から21世紀へ

平成24年5月29日（火）～平成25年6月30日（日）

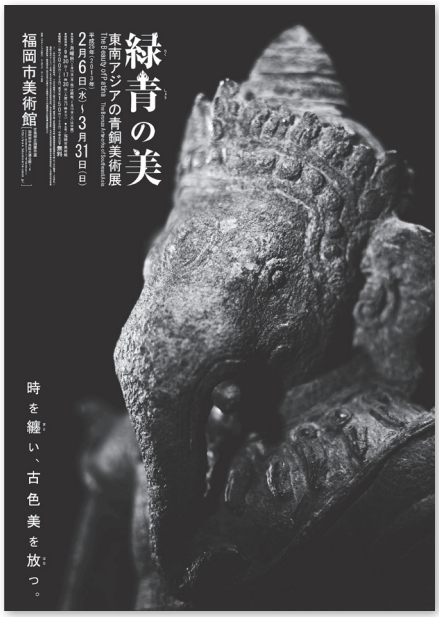
日本近代の洋画、シュルレアリスム、ポップアートなど20世紀以降に登場した様々な美術動向を代表する国内外の作品を、時代別・傾向別に58点展示した。（山口）

1. **ラファエル・コランと近代日本の洋画**
   ラファエル・コラン、黒田清輝、岡田三郎助、吉田博など
2. **20世紀前半の新たな展開**
   モーリス・ユトリロ、ジョルジュ・ルオー、佐伯祐三、児島善三郎など
3. **20世紀後半、不安と絶望からの出発**
   サルヴァトール・ダリ、マルク・シャガール、ポール・デルヴォーなど
4. **20世紀後半の抽象絵画**
   フランク・ステラ、マーク・ロスコ、菅井汲など
5. **美術の先鋭化と拡張**
   アンディ・ウォーホル、ジョージ・シーガル、ルチオ・フォンタナなど
6. **現代の絵画―希望に向かって**
   中村一美、松尾藤代、片山雅史

観覧料：一般200円（150円）　高大生150円（100円）　小中生以下無料
※（）内は20名以上の団体料金
※以下提示者は無料
身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳（介護者1名含む）、特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾患医療受診券、福岡市発行シルバー手帳、北九州市発行の年長者施設利用証、熊本市民・鹿児島市民で65歳以上が確認できるもの
観覧者数：p.46を参照
関連記事：p.18を参照

常設企画展

緑青の美



ポスターB2

会場風景

会　　期　平成25年2月6日(水)～3月31日(日)
会　　場　古美術企画展示室
内　　容　東南アジアにおいて先史の時代から育まれた高度な青銅鋳造技術は、民族や宗教を異にする多様性の坩堝というべき同地域の文化を華々しく彩った。
本展では、国内外の個人収集家のコレクションにより、先史から近代までを網羅するカンボジア、タイ、ラオス、ミャンマー、ベトナムにおける宗教彫刻を中心とする青銅遺物183件に、参考・特別出品11件を加え、東南アジア青銅美術・工芸の多様な造形美を紹介した。
出品点数　194件
主催等　福岡市美術館
観覧料　常設展示観覧料
開催日数　47日
観覧者数　9,723人(期間中の常設展示観覧者数)

展覧会担当：後藤恒

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
2月24日(日)	**講演会** **「クメール遺跡を駆ける」**	14:00～16:00	講師：山村道生氏(東南アジア美術研究家) 聴講者数：120人	講堂
2月24日(日)	**お茶会** **「東南アジア古陶器で立てた抹茶をどうぞ!」**	10:00～17:30	主催：福岡市美術館 協力：東南アジア美術・茶道愛好家一同 来場者数：165人	教養講座室
3月9日(土)	**講演会** **「東南アジア青銅美術の魅力」**	14:00～15:30	講師：後藤恒(当館学芸員) 聴講者数：60人	講堂

展覧会関連記事

特別企画展

ユベール・ロベール展

読売新聞（朝刊）　H24.4.24	ユベール・ロベール―悠久の古代を憧憬した、フランス18世紀の画家―
読売新聞（朝刊）　H24.5.28	古代への憧憬 描写／仏18世紀の画家　ユベール・ロベール展／油彩など130点／来月19日から福岡市美術館
読売新聞（朝刊）　H24.6.19	ロベール展　きょう開幕／福岡市美術館
読売新聞（朝刊）　H24.6.20	華麗 繊細 ロベール展／開会式に150人出席
読売新聞（朝刊）　H24.6.20	ロベール展が開幕／福岡市美術館
日本経済新聞（夕刊）　H24.6.20	美術がいど ガイド／「ユベール・ロベール　悠久の古代を憧憬した、フランス18世紀の画家」／7月29日まで
大分合同新聞（夕刊）　H24.6.22	画家ロベールの魅力に迫る／福岡市美術館 130点を展示
読売新聞（朝刊）　H24.6.23	ユベール・ロベール展／7月29日まで福岡市美術館／7月22日　福岡ハイドン弦楽四重奏団 演奏会／30日　「生涯と作品」記念講演会
読売新聞（朝刊）　H24.7.1	ロベールの魅力 美術史家が解説／福岡市美術館で講演会
朝日新聞（朝刊）　H24.7.3	カルチャー WEST／『評』美術　ユベール・ロベール展／古代と自然と人の幸せな関係／（田中修二・大分大学准教授）
読売新聞（朝刊）　H24.7.4	ユベール・ロベール展(上)／「古代遺物の発見者たち」／（静岡県立美術館学芸員・三谷理華）
読売新聞（朝刊）　H24.7.5	ユベール・ロベール展(中)／「凱旋橋」／（静岡県立美術館学芸員・三谷理華）
読売新聞（朝刊）　H24.7.6	ユベール・ロベール展(下)／「アルカディアの牧人たち」／（静岡県立美術館学芸員・三谷理華）
読売新聞（朝刊）　H24.7.15	ロベール展1万人突破／福岡市美術館
読売新聞（朝刊）　H24.7.23	ロベール展 弦楽で彩り／福岡市美術館
読売新聞（朝刊）　H24.7.28	入場者1万5000人突破／福岡市美術館 ロベール展
muto（ミュート） No.04 p.38	muTOPIC, 05／福岡市美術館／「ユベール・ロベール展」悠久の古代を憧憬した、フランス18世紀の画家
アヴァンティ福岡6月号 p.36	アヴァンティカルチャー／イベント&アート／悠久の古代を憧憬した、フランス18世紀の画家「ユベール・ロベール」
月刊みれにあむ大牟田6月号	長雨の季節…美術館へ出かけよう!／ユベール・ロベール　悠久の古代を憧憬した、フランス18世紀の画家
HOTPEPPER FUKUOKA 6月号 p.7	今月はどこに遊びにいく? ワクワク★おでかけ情報 福岡周辺エリア／フランスを代表する風景画家、ユベール・ロベールの作品を一挙公開／「ユベール・ロベール」展
下関生活情報紙 Re.フレッシュ	福岡市美術館【6月19日（火）から】ユベール・ロベール　悠久の古代を憧憬した、フランス18世紀の画家
シティ情報ふくおか No.727 p.102	今月のエンタテイメント／Art／ユベール・ロベール展／日本初開催!美しき空想的風景画の世界
九州日仏学館 2012年夏期講座	文化イベント／Expositions 展覧会／Exposition Hubert Robert ユベール・ロベール―“悠久の古代を憧憬した、フランス18世紀の画家”
福岡EU協会会報 Twelve Stars Vol.40 Summer 2012, p.7	福岡でEU／Twelve Stars of Art & Culture／Event／ユベール・ロベール
月刊はかた 7月号 Vol.284, p.33	ギャラリー情報／「ユベール・ロベール」展
月刊タウン情報クマモト7月号 No.393 p.98	INFORMATION EVENT／福岡　アート／古代への憧憬を描いた18世紀フランス絵画の巨匠　ユベール・ロベール
ぱど 2012年7月号	タウンガイド／よかよかインフォメーション／アート／ユベール・ロベール
月刊スキップ7月号 p.36	SKIP　情報ラインナップ／「ユベール・ロベール―悠久の古代を憧憬した、フランス18世紀の画家―」
ラ・プラス通信 Vol.21 2012・夏号（ルノー福岡中央発行）	ENTERTAINMENT／event&art／アート『ユベール・ロベール』展
博多のうわさ7月号 p.23	お客様横丁／ユベール・ロベール―悠久の古代を憧憬した、フランス18世紀の画家―

近代から現代へ　日本画の巨匠たち

西日本新聞（朝刊）　H24.5.31	岡倉天心 没後100年記念／近代から現代へ 日本画の巨匠たち
朝日新聞（朝刊）　H24.6.26	日本画巨匠に出会う夏／京絵師15人乱れ咲き　九州国立博物館／（編集委員・中村俊介）／美と革新の軌跡 福岡市美術館／（安斎耕一）
毎日新聞（朝刊）　H24.8.20	月曜文化／日本美術院の名作網羅／あすから福岡市美術館
西日本新聞（朝刊）　H24.8.21	「日本画の巨匠たち」展きょう開幕
西日本新聞（朝刊）　H24.8.23	「日本画の巨匠たち　名作でたどる日本美術院のあゆみ」／近代の精華　一堂に／大観、春草、観山…秀作70点展示／「改革こそが伝統」／日本美術院のルーツを訪ね／（宇田懐）
西日本新聞（朝刊）　H24.9.6	本社の事業／『近代から現代へ　日本画の巨匠たち　名作でたどる日本美術院のあゆみ』／岡倉天心・没後100年特別展、23日まで福岡市美術館／日本美術の近代化に貢献／新しい日本画の創造目指す
西日本新聞（朝刊）　H24.9.12	福岡ワイド／名作でたどる日本画の巨匠たち 1／橋本雅邦「月夜山水」（1887年ごろ、東京芸術大蔵）／新たな絵画空間示す／（静岡市美術館学芸員・山本香瑞子）
西日本新聞（朝刊）　H24.9.13	福岡ワイド／名作でたどる日本画の巨匠たち 2／横山大観「柳蔭」（右隻、1913年、東京国立博物館蔵）／のどかさと華やかさ／（静岡市美術館学芸員・山本香瑞子）
西日本新聞（朝刊）　H24.9.16	福岡ワイド／名作でたどる日本画の巨匠たち 3／今村紫紅「近江八景」から「比良」（1912年、東京国立博物館蔵／風景表現に新境地を／（静岡市美術館学芸員・山本香瑞子）
西日本新聞（朝刊）　H24.9.17	福岡ワイド／名作でたどる日本画の巨匠たち 4／太田聴雨「星を見る女性」（1936年、東京国立近代美術館蔵）／（静岡市美術館学芸員・山本香瑞子）
西日本新聞（朝刊）　H24.9.19	来場者3万人を突破／日本画の巨匠たち展
西日本新聞（朝刊）　H24.9.24	「日本画の巨匠たち」展が閉幕
福岡市文化芸術振興財団機関誌wa vol.54（2012年7月1日発行）	Museums&Theaters／福岡市美術館／近代から現代へ　日本画の巨匠たち
新美術新聞 1288号 p.4（2012年8月21日発行）	岡倉天心没後100年記念　近代から現代へ　日本画の巨匠たち／名作でたどる日本美術院のあゆみ
face No.83 pp.7-8（2012年9月2日発行）	歴史に名を残す巨匠たち、大観、春草、観山から、現代の巨匠たち、平山郁夫などの名作が一堂に集結。／岡倉天心没後100年記念　近代から現代へ　日本画の巨匠たち／名作でたどる日本美術院のあゆみ

ELF（西広APエルフ）No.437 p.28-30 （2012年9月1日発行）	歴史に名を残す巨匠たち、大観、春草、観山から、現代の巨匠たち、平山郁夫などの名作が一堂に集結。／岡倉天心没後100年記念　近代から現代へ　日本画の巨匠たち／名作でたどる日本美術院のあゆみ

大英博物館　古代エジプト展

朝日新聞（朝刊）	H24.9.21	大英博物館　古代エジプト展／ナイルの地　復活への願い／棺ずらり　時を超え／大英博物館収蔵庫に眠る10万点／死後の世界観　呪文や絵に／大英博物館古代エジプト・スーダン部　ジョン・テイラー副部長／「死者の書」切なる思いを感じて／近藤二郎・早大教授／文・増田愛子
朝日新聞（朝刊）	H24.9.30	エジプト展の記念おはじき　会場で販売
朝日新聞（夕刊）	H24.10.2	大英博物館　古代エジプト展／「死者の書」で読み解く来世への旅／永遠の楽園を求めて／まだ見ぬ友に会える／展覧会サポーター　堺雅人さん／福岡市美術館で　6日から11月25日まで／（構成・増田愛子）
朝日新聞（朝刊）	H24.10.4	古代エジプト展へ安置／ミイラ起こさぬよう…
朝日新聞（夕刊）	H24.10.6	古代エジプト展　初日盛況
朝日新聞（朝刊）	H24.10.6	「大英博物館　古代エジプト展」記念おはじき発売
朝日新聞（朝刊）	H24.10.7	ぐる〜り「死後の冒険」／エジプト展　パピルス人気
朝日新聞（朝刊）	H24.10.17	大英博物館　古代エジプト展／オシリス神像（前1100年ごろ、木・彩色）
朝日新聞（朝刊）	H24.10.18	大英博物館　古代エジプト展／フウネフェルの「死者の書」（部分）（前1280年ごろ、パピルス・彩色）
朝日新聞（朝刊）	H24.10.19	大英博物館　古代エジプト展／デニトエンコンスの供養碑（前800年ごろ、木・彩色）
朝日新聞（朝刊）	H24.10.19	大英博物館　古代エジプト展／冥界の旅へようこそ／人間の想像力に感銘／旅行ジャーナリスト　兼高かおる
朝日新聞（朝刊）	H24.10.20	古代エジプト展来場2万人突破
朝日新聞（朝刊）	H24.10.21	大英博物館　古代エジプト展／グリーンフィールド・パピルス「審判の場面」（前950〜前930年ごろ、パピルス）
朝日新聞（朝刊）	H24.10.23	「!」がいっぱい「死者の書」／エジプトと九州　冥界風景に接点／（編集委員・中村俊介）
朝日新聞（朝刊）	H24.10.24	大英博物館　古代エジプト展／ミイラマスク（前1世紀〜後1世紀、カルトナージュ、金箔、彩色）
朝日新聞（朝刊）	H24.10.25	大英博物館　古代エジプト展／パセンホルの人形棺（前750〜前720年ごろ、木・彩色）
朝日新聞（朝刊）	H24.10.28	大英博物館　古代エジプト展／船の模型（前1850年ころ、木、しっくい、彩色）
朝日新聞（朝刊）	H24.11.7	来場5万人超す／壱岐の家族に記念品
朝日新聞（朝刊）	H24.11.7	大英博物館　古代エジプト展／ヘヌウトメヒトのシャブティとシャブティ・ボックス（前1250年ころ、木、彩色）
朝日新聞（朝刊）	H24.11.10	職人技の「お宝」古代エジプト展
朝日新聞（朝刊）	H24.11.14	大英博物館　古代エジプト展／グリーンフィールド・パピルス「天と地のはじまりの場面」（前950〜前930年ごろ、パピルス）
朝日新聞（朝刊）	H24.11.15	大英博物館　古代エジプト展／ヒエログリフが読めた／人間・鳥…文字って面白い
朝日新聞（朝刊）	H24.11.21	古代エジプト展来場8万人突破
朝日新聞（朝刊）	H24.11.25	大英博物館　古代エジプト展／動物の風刺パピルス（前1295〜前1069年ころ、パピルス、彩色）
朝日新聞（朝刊）	H24.11.26	エジプト展に10万人
muto（ミュート） No.05 p.38 （2012年9月1日発行）		muTOPIC, 04／福岡市美術館／大英博物館　古代エジプト展
アヴァンティ10月号 p.36（2012年9月20日発行）		SKIP 情報ラインナップ／『大英博物館　古代エジプト展』
リセットVol.85 2012年10月号 p.9（2012年9月25日発行）		見て、触れて、感性を磨く／特集　秋の芸術巡り
ELF No.438 2012年10月号 p.13		TOPICS／話題NEWS10／大英博物館 古代エジプト展!!／世界最長!『死者の書』日本初公開
博多のうわさ10月号 p.22（2012年10月1日発行）		お客様横丁／「大英博物館　古代エジプト展」
月刊はかたVol.287 2012年10月号 p.33		ギャラリー情報／大英博物館　古代エジプト展
月刊みれにあむ　大牟田 11月号（2012年11月1日発行）		芸術の秋です…美術館に出かけよう!／福岡市美術館／大英博物館・古代エジプト展／世界最長!37メートル『死者の書』日本初公開
ぐらんざNo.156 2012年11月号 p.43		博物館・美術館／大英博物館　古代エジプト展／大英博物館から門外不出の"死者の書"到来／観覧後、ロンドン気取りのグッズ探しも又楽し／廣﨑靖邦
にしてつニュースNo.642 2012年11月号		おでかけカレンダー／開催中〜11月25日（日）／大英博物館　古代エジプト展／福岡市美術館

福岡現代美術クロニクル　1970-2000

西日本新聞（朝刊）	H24.10.11	「福岡を拠点に」決意した美術家たちの軌跡／山口洋三／福岡現代美術クロニクル／来年1月から　福岡市美術館、福岡県立美術館／70年代以降に焦点／（やまぐち・ようぞう＝福岡市美術館学芸員）
西日本新聞（朝刊）	H25.1.6	福岡の現代美術史紹介／県と市の美術館が初の共同企画／「1970-2000」展始まる―九州派以降の作家に光
毎日新聞（朝刊）	H25.1.7	福岡／ポスト九州派を一望／県、市の2館 現代美術で共同展
読売新聞（朝刊）	H25.1.12	福岡現代美術クロニクル 1970-2000／「停滞期」再評価の胎動／福岡県立、市美術館／（白石知子）
西日本新聞（朝刊）	H25.1.18	現代美術家・村上さん／福岡市・天神で20日まで新作展／小枝が生む鋭い生命感／造形作品やデッサン展示（松尾孝司）
読売新聞（朝刊）	H25.1.19	美術散策／元村正信／意味を剥がれた輪郭／（美術家）
西日本新聞（夕刊）	H25.2.2	美術館タッグ　魅力も倍／1つの展覧会　2館で楽しむ／福岡の現代美術、金閣・銀閣、高山辰雄／個別にテーマ、対比の妙…／（南陽子）
西日本新聞（朝刊）	H25.2.5	混在、交流、都市型展示／30年の動向振り返る／「クロニクル展」記念シンポ／（平原奈央子）
西日本新聞（朝刊）	H25.2.5	文化／個と現状　1970-2000@福岡-1／「福岡現代美術クロニクル」展／「九州派以後」の苦闘／空白に抗い先駆者超える／（南陽子）／混在、交流、都市型展示／30年の動向振り返る／「クロニクル展」記念シンポ／（平原奈央子）
朝日新聞（朝刊）	H25.2.5	アートing／福岡県・市美術館／「九州派」以降をたどる／福岡発　現代美術の情熱／（安斎耕一）
朝日新聞（夕刊）東京本社版	H25.2.6	評／福岡現代美術クロニクル 1970-2000／前衛以降の「先進地」に光／（編集委員・大西若人）
西日本新聞（朝刊）	H25.2.6	文化／個と状況 1970-2000@福岡-2／鉄の造形作家、阿部守／「福岡現代美術クロニクル」展／東京にいたら制作を続けていなかったかもしれない」／鉄の街で神髄見た／（南陽子）

西日本新聞（朝刊）　H25.2.7	文化／個と状況 1970-2000@福岡-3／革新の映像作家、伊藤高志／「福岡現代美術クロニクル」展／「システムではなく、人が起こしたムーブメントだった」／「芸工大」が輝いた日／（塚崎謙太郎）
西日本新聞（朝刊）　H25.2.8	文化／個と状況 1970-2000@福岡-4／現代美術家、柳幸典／「福岡現代美術クロニクル」展／「だれもやったことがないことに価値がある」／反抗精神、貫き通す／（南陽子）
西日本新聞（朝刊）　H25.2.9	文化／個と状況 1970-2000@福岡-5／三菱地所アルティアムという場／／「福岡現代美術クロニクル」展／アートと人と街との結節点／（南陽子）
読売新聞（朝刊）大阪本社版　H25.2.17	風の座標／近過去の芸術／地域一体で未来に生かす／文化・生活部次長　西井 淳
西日本文化　460号 pp.42-45（2012年12月1日発行）	福岡市美術館・福岡県立美術館　共同開催展　「福岡現代美術クロニクル 1970-2000」にみる　福岡現代美術の変遷／山口洋三
シティ情報ふくおかNo.733	今月のエンタテイメント／Art／福岡現代美術クロニクル1970-2000／福岡の現代美術の歴史を回顧する
アヴァンティ 2013年1月号 p.36（2012年12月20日発行）	アヴァンティカルチャー／イベント&アート／30年の歴史を回顧する「福岡現代美術クロニクル 1970-2000」
ギャラリー 2013 Vol.01 p.50（2013年1月1日発行）	福岡現代美術クロニクル 1970-2000～福岡の現代美術、その30年の歴史を回顧する～
博多のうわさ 2013年1月号 p.22	お客様横丁／福岡現代美術クロニクル1970～2000開催
月刊みれにあむ　大牟田　1月号（2013年1月1日発行）	新春を楽しむ…美術館に出かけよう!／福岡現代美術クロニクル／福岡の現代美術、その30年の歴史を回顧する
福岡市文化芸術振興財団機関誌wa vol.56（2013年1月1日発行）	Museums&Theaters／福岡市美術館／福岡現代美術クロニクル1970-2000
NO!! 2月号 No.152	ART&FILM EVENT／福岡市美術館　福岡県立美術館で共同企画・同時開催／福岡現代美術クロニクル1970-2000
ZENBI　全国美術館会議機関誌　Vol.4 pp.20-21（2013年8月1日発行）	九州ブロック／まねのできない気合いと気概／野中 明（のなかあきら・長崎県美術館）

公募展

第47回福岡市美術展

西日本新聞（朝刊）　H25.3.1	福岡市美術展／木戸さん（糸島市）最高賞／市長賞7人女性初独占　12日から展示
毎日新聞（朝刊）　H25.3.1	福岡市美術展／最高賞に木戸さん（糸島市）／市長賞7人、全て女性
西日本新聞（朝刊）　H25.3.2	福岡市美術展入賞者
西日本新聞（朝刊）　H25.3.3	福岡市美術展入選者（上）
西日本新聞（朝刊）　H25.3.4	福岡市美術展入選者（中）
西日本新聞（朝刊）　H25.3.5	福岡市美術展入選者（下）
読売新聞（朝刊）　H25.3.5	福岡市美術展／特別賞に木戸さん／洋画「殖え続ける細胞」

常設展

児島善三郎と独立美術協会

西日本新聞（朝刊）　H24.6.4	文化／独学の巨人・児島善三郎／再評価へ動き／（井口幸久）

夏休みこども美術館2012

読売新聞かわら版　H24.7.14	おいで／展示／夏休みこども美術館2012 こどもギャラリー「そら・うみ・かぜ―菊畑茂久馬の絵―」
朝日新聞（夕刊）　H24.7.27	カルチャー福岡／そら・うみ・かぜ　菊畑茂久馬（もくま）の絵
読売新聞福岡西かわらばん第292号　H24.8.25	美術館裏側にびっくり／児童ら監視室や燻蒸室"探検"／福岡市美術館「身近に感じて」／作品もじっくり鑑賞
子づれ DE CHA・CHA・CHA! 2012年7&8月号（2012年6月25日発行）	7.18（水）～9.2（日）／夏休みこども美術館2012 こどもギャラリー「そら・うみ・かぜ―菊畑茂久馬の絵―」
ふくおか市政だより2012年7月15日号	子どもも大人も楽しめる　夏休みお出掛け情報／福岡市美術館／夏休みこども美術館2012
Enjoy, PRINCE（日産プリンス福岡機関誌）2012年8月号 p.3	旬なびボックス／ART／宿題にも役立つかも／美術館へアートの冒険に行こう!
福岡市情報プラザ通信2012年8月号 p.1	おでかけ情報／クールシェア特集／夏休みこども美術館2012こどもギャラリー（そら・うみ・かぜ～菊畑茂久馬の絵～）
子づれ DE CHA・CHA・CHA! 2012年9&10月号（2012年8月25日発行）	夏休みこども美術館2012　おやこでさがそう!美術館のそら・うみ・かぜ

緑青の美　東南アジアの青銅美術

毎日新聞（朝刊）　H25.1.28	東南アジアの青銅美術200点／福岡市美術館「緑青の美」展／城山均
西日本新聞（朝刊）　H25.2.11	東南アジア、青銅美術の魅力／美意識と化学変化／「緑青の美」展　福岡市美術館
朝日新聞（朝刊）　H25.3.5	見／青銅器が語る 神と権力／畏怖・威信 造形に色濃く／（編集委員・中村俊介）
読売新聞（朝刊）　H25.3.23	東南アジア 青銅美術の造形美／福岡市美術館で展示中
福岡市文化芸術振興財団wa vol.56 p.7（2013年1月1日発行）	おしゃべりな学芸員／福岡市美術館　後藤 恒

こどもアートアドベンチャー

こどもたちと美術のより良い出会いの場を提供する事を目的に、平成9年より展開している市内小・中学校を主な対象とした教育普及活動。学校と連携し、児童・生徒が美術館を利用できる機会を増やすとともに、こどもたちがより美術に興味を持ち、深く理解出来るよう、ボランティアのギャラリートークなどを行っている。

市内の小・中学校等に対するギャラリーツアー（スクールツアープログラム）

平成24年

5月 9日（水）	舞鶴付属中学校1,2,3年生	生徒35人	引率6人
6月 7日（木）	友泉中学校1年生*	生徒278人	引率16人
6月 8日（金）	吉塚中学校2年生*	生徒103人	引率8人
6月20日（水）	玄界中学校2年生*	生徒3人	引率3人
6月27日（水）	草ヶ江小学校4年生	児童107人	引率2人
6月28日（木）	草ヶ江小学校6年生	児童109人	引率2人
7月 5日（木）	柏原中学校2年生*	生徒185人	引率8人
7月 6日（金）	西福岡中学校1年生*	生徒132人	引率9人
7月10日（火）	和白丘中学校1年生*	生徒247人	引率15人
8月22日（水）	松崎中学校1年生*	生徒152人	引率10人
9月14日（金）	花畑中学校2年生*	生徒176人	引率11人
9月27日（木）	香椎第1中学校1年生*	生徒216人	引率13人
10月 2日（火）	城香中学校1年生*	生徒72人	引率6人
10月 5日（金）	春吉小学校5年生	児童18人	引率2人
10月10日（水）	当仁小学校1年生	児童86人	引率4人
10月16日（火）	壱岐中学校1,2,3年生	生徒6人	引率1人
10月16日（火）	松島小学校6年生	児童149人	引率7人
10月17日（水）	若宮小学校6年生	児童100人	引率3人
10月17日（水）	柏原小学校6年生	児童99人	引率4人
11月 9日（金）	東住吉中学校1年生	生徒75人	引率6人
11月20日（火）	多々良中央中学校1年生*	生徒181人	引率14人
11月21日（水）	南当仁小学校2,5年生	児童116人	引率7人
11月22日（木）	那珂小学校5年生	児童167人	引率7人
12月 7日（金）	東住吉小学校5年生	児童41人	引率2人
12月12日（水）	簀子小学校5,6年生	児童68人	引率2人

平成25年

1月17日（木）	那珂南小学校5年生	児童87人	引率4人
1月19日（土）	原中央中学校美術部1,2年生	生徒8人	引率1人
1月25日（金）	東吉塚小学校5年生	児童78人	引率4人
1月31日（木）	小田部小学校5年生	児童127人	引率4人
2月 7日（木）	松島小学校5年生	児童168人	引率6人
2月19日（火）	賀茂小学校6年生	児童90人	引率4人
2月20日（水）	香住丘小学校5年生	児童146人	引率4人
2月22日（金）	屋形原特別支援学校1,2,3年生	生徒7人	引率10人
2月28日（木）	城南中学校2年生*	生徒275人	引率10人
3月 1日（金）	愛宕小学校5年生	児童129人	引率4人
3月 5日（火）	東箱崎小学校5年生	児童60人	引率2人
3月 6日（水）	長丘小学校5年生	児童130人	引率4人
3月 7日（木）	玉川小学校5年生	児童117人	引率4人
3月 7日（木）	入部小学校5年生	児童74人	引率2人
3月 8日（金）	内野小学校5年生	児童57人	引率3人

＊は体験学習による来館校

夏休みこども美術館2012

こどもたちに当館の所蔵品に親しみ、美術に接してもらうため、展示やワークショップ、ギャラリートーク等を組み合わせた複合的な教育普及プログラムとして本事業を実施している。平成24年度は、福岡在住の画家、菊畑茂久馬を取り上げ、これまで本事業で紹介してこなかった現代美術に、こどもたちが触れる機会とした。

こどもギャラリー「そら・うみ・かぜー菊畑茂久馬の絵ー」

菊畑茂久馬の抽象絵画8点を、「そら・うみ・かぜ」というテーマで展示した。そうすることで、難しく考えられがちな抽象絵画を、来館者に楽しんでもらい、また作家とのつながりを感じられるような場をつくることを目的とした。展覧会場では、菊畑が普段使用している筆に触れたり、来館者が感じたことを「感想カード」に記入し会場内に展示したりする仕掛けを設けた。

会　　期：平成24年7月18日（水）～9月2日（日）
会　　場：企画展示室
観 覧 料：常設展示観覧料（但し、7～8月は「クールシェアふくおか」実施の為無料）

こどもワークショップ①「月の光をえがいてみよう!」

菊畑茂久馬を講師に迎え、月の光という抽象概念を描くワークショップを開催した。「月の光」をどう描くのか悩んでいたこども達も、菊畑の助言を得ながら、2日間かけて作品を完成させた。完成作品とワークショップの映像はこどもギャラリー前で会期中展示した。

日　　時：平成24年7月26日（木）12:30～15:30、7月27日（金）10:00～15:00（2日間）
会　　場：実技講座室、こどもギャラリー（企画展示室）
特別講師：菊畑茂久馬　　**対　　象**：小学校4年生～中学校1年生
参 加 費：500円（材料費）　　**参加者数**：14人

こどもワークショップ②「そら・うみ・かぜの詩をつくろう!」

こどもギャラリーの作品から1点を選び鑑賞し、頭に浮かんできた「ことば」をつなげて、詩をつくった。詩に添えて、選んだ展示作品や詩の内容を表す絵も描いた。最後に展示室で、題材とした作品を前に詩を朗読した。詩は作品集にし、後日参加者に配布した。

日　　時：平成24年8月5日（日）10:00～12:00、8月21日（火）10:00～12:00
会　　場：実技講座室、こどもギャラリー（企画展示室）
進　　行：神保明香（当館学芸員）
対　　象：小学校1年生～3年生
参 加 費：無料　　**参加者数**：17人

おやこでさがそう!美術館のそら・うみ・かぜ

こどもギャラリーのテーマ「そら・うみ・かぜ」に合わせ、常設展示から作品を選び、その場所を記した地図を作成した。小さなこどもを連れた来館者が、自分たちのペースで作品を鑑賞出来るようにするためのものであり、キッズコーナーにも地図を設置した。

期　　間：会期中毎日
マップ設置場所：キッズコーナー　森のたね、こどもギャラリー前

ギャラリーツアーforキッズ!夏休み特別版

当館のギャラリーガイドボランティアが、こどもギャラリーの作品を、さまざまな形容詞がかかれた「ことばカード」をトランプの要領で使いながら、楽しく紹介した。大人の参加も可とした。

日　　時：会期中毎日14:00～14:30
参 加 費：無料
参 加 者：102人

美術館探検

普段来館者が入ることの出来ない美術館の裏側を見ながら、美術館に作品が展示されるまでの過程を辿り、そこに関わる人や仕事を紹介した。最後はこどもギャラリーで、ギャラリーガイドボランティアと作品を鑑賞した。

日　　時：平成24年8月8日（水）10:30～12:00、13:30～15:00
　　平成24年8月18日（土）10:30～12:00、13:30～15:00
参 加 費：無料
参 加 者：小学生と保護者　計95人

夏休みこどもとしょかん「よんで楽しもう!そら・うみ・かぜ」

「そら・うみ・かぜ」に関するこども向けの図書を特集した。菊畑茂久馬の書いた絵本も設置した。

期　　間：平成24年7月18日（水）～9月2日（日）
会　　場：読書室、キッズコーナー　森のたね
印 刷 物：チラシ（A4）、夏休みこども美術館2012報告書（A4封筒、内容物6種）

アートパズル

常設展示中の十二神将立像と薬師如来立像をモチーフにマグネットでアートパズル「仏像の着せ替えパズル」を制作した。毎日決まった時間に、当館ボランティアがアートパズルをキッズコーナーへ持参し、こどもたちが自由に遊べるようにした。

期　　間：会期中毎日13:00～14:00　　**場　　所**：キッズコーナー　森のたね　　**参加費**：無料

つきなみ講座

美術館の仕事と美術のさまざまな側面を知ってもらうため、美術館職員が自身の研究・業務内容、特定のテーマ等について話をするというもの。本講座は、平成25年1月から開始し、その後毎月1回実施している。

第1回　美術観照―自然美と芸術美

講　　師：錦織亮介（当館館長）　　**開 催 日**：平成25年1月26日（土）　　**参加者数**：66人

第2回　耳庵松永安佐エ門と松永コレクション

講　　師：尾﨑直人（当館嘱託学芸員）　　**開 催 日**：平成25年2月23日（土）　　**参加者数**：75人

第3回　高取焼の歴史と魅力

講　　師：尾﨑直人（当館嘱託学芸員）　　**開 催 日**：平成25年3月23日（土）　　**参加者数**：69人

開館記念事業

図録フェア

平成23年度までに福岡市美術館で開催された展覧会図録で在庫のあるものを定価の5割～9割引きで販売した。

日　　時：平成24年11月3日（土・祝）10:00～17:00、11月4日（日）10:00～17:00
会　　場：2階ロビー

第4回福岡ミュージアムウィーク

博物館・美術館の役割を広く多くの方々に知っていただくために制定された「国際博物館の日」（5月18日）を記念して、福岡市博物館・福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡県立美術館・福岡市埋蔵文化センター・「博多町家」ふるさと館・王貞治ベースボールミュージアムが連携し、様々なイベントを通して「出会いの場」、「知識の場」、「発見の場」である博物館・美術館をアピールする事業。

期　　間：平成24年5月12日（土）～5月20日（日）
印 刷 物：ポスター（B2）、チラシ（A3 二つ折り）

常設展観覧料無料

観覧者数：2,917人（期間中の常設展示室観覧者数）

スタンプラリー

参加館7館のうち2館分のスタンプを集めて応募された方の中から抽選で特別展観覧券などの賞品を贈呈した。

応 募 数：1,290人（7館の合計）

村上隆講演会

日　　時：平成24年5月20日（日）14:00～16:00
講　　師：村上 隆氏（美術家）
会　　場：講堂　　**聴講者数**：240人

バックヤードツアー

普段は見ることのできない美術館の裏側を案内し、美術館の機能を紹介するツアー。

日　　時：平成24年5月12日（土）13:00～14:00
参加者数：22人

ギャラリーツアー

当館のギャラリーガイドが常設展示を案内するツアー。

日　　時：平成24年5月12日（土）～20日（日）※休館日を除く
11:00～、14:00～（2回、各40分程度）
参加者数：108人（計16回の合計）

オーギカナエ親子ワークショップ

「キッズコーナー 森のたね」の制作者オーギカナエ氏（美術家）と一緒に、こどものためのミュージアムエコバッグを作るワークショップ。

日　　時：平成24年5月19日（土）13:00～16:00
会　　場：キッズコーナー 森のたね（2階ロビー）
対　　象：小学生以下のこどもと保護者50組
材 料 費：500円　　**参加者数**：43人

レストラン、ブックショップでの割引サービス

博物館実習

博物館法による学芸員資格取得のための実習を大学からの依頼により受け入れた。

実習期間：平成24年5月8日から同年11月30日までの10日間。

24年度受入れ　博物館実習生名簿

■西南大学
田中　大喜　　国際文化学部　国際文化学科
高野友季絵　　国際文化学部　国際文化学科

■福岡大学
中井志保里　　人文学部　文化学科
小野　　栞　　人文学部　歴史学科

■筑紫女学園大学
落合　真梨　　文学部　日本語・日本文学科
橋本　加織　　文学部　日本語・アジア文化学科

■九州産業大学
坂口　　望　　芸術学部　写真映像学科

■福岡教育大学
立和田典子　　生涯スポーツ芸術課程書美コース

職場体験学習

学校教育の一環として職場体験学習が行われており、美術館でも本年度3校を受け入れて、常設展示の受付、監視等の体験学習を行った。

平成24年5月30日（水）　東福岡自彊館中学校　4人
平成24年7月 3日（火）　福岡市立城南中学校　5人
平成24年9月12日（水）　福岡市立友泉中学校　3人

読書室企画

読書室の一角に当館開催の展覧会等に関する資料の特集を行い、来館者に美術に関する知識や興味をより深めてもらえるよう、資料を通しての普及啓蒙活動を行った。

常設展関連図書特集

常設展示室での各展示に関連した図書を特集した。

特別展関連図書特集

・平成24年6月19日（火）～7月29日（日）　「ユベール・ロベール」関連
・平成24年8月21日（火）～9月23日（日）　「近代から現代へ　日本画の巨匠たち」関連
・平成24年10月6日（土）～11月25日（日）　「大英博物館　古代エジプト展」関連
・平成25年1月5日（土）～2月11日（月・祝）　「福岡現代美術クロニクル　1970-2000」関連

読書室企画図書特集

夏休みこどもとしょかん「よんで楽しもう!そら・うみ・かぜ」

会期：平成24年7月18日（水）～9月2日（日）
会場：読書室、キッズコーナー 森のたね
内容：夏休みこども美術館2012こどもギャラリー「そら・うみ・かぜ―菊畑茂久馬の絵―」の開催に関連して、児童向けの美術書や美術作品の鑑賞のヒントが書かれているものを中心に美術に関心を持ったり理解を深めてもらえたりするような絵本など26冊（読書室17冊、キッズコーナー9冊）を特集した。

協力事業

大学への授業等への協力

当館学芸員によるレクチャーの後、ギャラリーガイドボランティアによる常設展示のギャラリーツアーを行った。

日　　時：平成24年4月29日（日）
参 加 者：九州大学芸術工学部「芸術文化環境論」学外演習　2,3年生55人、引率1人

ボランティア活動

当館では、昭和51年にボランティアを募集し、昭和54年の美術館開館と同時に活動を開始した。新聞スクラップから始まったボランティア活動は、現在では大きくギャラリーガイドボランティアと、美術情報ボランティアの二つのセクションに分かれ、「美術館の活動を支援し、且つ、それを通して社会に貢献すること」を目標に、美術館の活動を支える重要な柱の一つとなっている。なお、美術情報ボランティアは、さらに新聞情報ボランティア、図書整理ボランティア、美術家情報整理ボランティアと分かれている。

ギャラリーガイドボランティア

平成24年度の登録人数：74人

［活動内容］

■ギャラリーツアー

開館日の午前11時と午後2時に40分程度、当館の所蔵作品を紹介するギャラリーツアーを実施している。ボランティアは、自ら決めたテーマに沿って常設展示室の展示作品から3点を選び、参加者との対話を重視しながら鑑賞活動を行う。参加は無料。
※「夏休みこども美術館」期間中（7月18日（水）～9月2日（日））は、「ギャラリーツアーforキッズ!夏休み特別版」のために午後2時からの回は休止

参加延べ人数：337人

■ギャラリーツアー for キッズ!

平成20年度より始ったこどもを対象とした常設展示ギャラリーツアー。毎月第2土曜日、第2日曜日の午後2時から実施。ボランティアが自ら決めたテーマに沿って3点を選び、参加者に紹介するなど、基本的な構成はギャラリーツアーと同じ。
※「夏休みこども美術館」期間中（7月18日（水）～9月2日（日））は、「ギャラリーツアー for キッズ!夏休み特別版」のために休止

参加延べ人数：14人

■団体向けツアー

上記ギャラリーツアー以外に、申し込みのあった団体へのギャラリーツアーを行っている。参加団体は下記の通り。なお、市内学校団体向けのスクールツアーについては「こどもアートアドベンチャー」の項目（P.19）を参照のこと

平成24年

4月 4日（水）	元気ジャックス	9人	
4月27日（金）	福岡インターナショナルスクール1～3年生	生徒42人	引率6人
4月29日（日）	九州大学芸術工学部	生徒55人	引率1人
5月15日（火）	元気ジャックス	8人	
5月15日（火）	福岡シティーループバス「ぐりーん」で巡るミュージアムガイドツアー	24人	
5月18日（金）	島原市立三会小学校6年生	児童51人	引率5人
5月19日（土）	日本陶磁教会　仙台支部	43人	
6月 7日（木）	老人クラブ　高砂会	20人	
6月22日（金）	桧原こひつじ幼稚園	年長組76人	引率4人
6月29日（金）	一ツ葉高校1～3年生	生徒12人	引率1人
7月 3日（火）	元気ジャックス	児童12人	引率2人
7月 4日（水）	西南学院大学　武末ゼミ	生徒15人	引率1人
7月19日（木）	歴史散歩（現地講座）	40人	
8月 7日（火）	元気ジャックス	11人	
10月13日（土）	志免町立志免中学校	生徒19人	引率1人
10月18日（木）	南島原市立西有家小学校6年生	児童42人	引率5人
10月19日（金）	唐津市立平原小学校5年生	児童10人	引率2人
10月23日（火）	社会福祉法人創生会　デイサービスセンター　イコロの家山王公園	6人	
10月24日（水）	筑陽学園中学校2年生	生徒77人	引率3人

10月25日(木)	南島原市立有家小学校6年生	児童41人	引率5人
11月 6日(火)	筑陽学園中学校1年生	生徒73人	引率3人
11月 8日(木)	直方市立直方第一中学校2年生	生徒80人	引率7人
11月10日(土)	ミリカローデン那珂川	児童13人	引率11人
11月16日(金)	宗像市立吉武小学校5年生	児童15人	引率2人
11月22日(木)	大分県日田市三和小学校5年生	児童43人	引率4人
11月23日(金)	筑後市立筑後北中学校1〜3年生	生徒38人	引率1人
12月 1日(土)	NPO法人やまぐち男女共同参画会議　50人		
12月 4日(火)	朝倉市立大福小学校5〜6年生	児童68人	引率5人
12月 7日(金)	小郡市立東野小学校4年生	児童58人	引率3人
12月22日(土)	古賀市アートバスプロジェクト小学3〜6年生	児童12人	引率6人

平成25年

1月11日(金)	うきは市立御幸小学校家庭教育学級	児童22人	引率15人
1月24日(木)	那珂川町立安徳北小学校5年生	児童147人	引率5人
1月29日(火)	福岡県国際環境人材研修	7人	
1月30日(水)	大野城市立大利小学校	児童150人	引率7人
1月31日(木)	水巻町ボランティア連絡協議会	15人	
2月 2日(土)	古賀市アートバスプロジェクト小学3〜6年生	児童5人	引率7人
2月 8日(金)	伊万里市立青嶺中学校3年生	生徒1人	引率1人
2月10日(日)	飯田こども園職員	11人	
2月16日(土)	古賀市アートバスプロジェクト	幼稚園児25人	引率10人
2月16日(土)	有家町文化協会	50人	
3月19日(火)	大牟田市立甘木中学校1年生	生徒212人	引率13人

■研修

スクールツアーの技術力アップのために、ギャラリーガイドボランティア向けの研修を実施した。内容および実施の日時は下記の通り。

【研修1】スクールツアーの目的

内　容：スクールツアーの目的についての講義と、2人一組になって一方が図版を隠しながら説明し、もう一方が説明だけを頼りにその作品を描く、というゲームを実施。その後、学芸員によるデモンストレーションを行った。同じ内容で3回実施。また、以下の研修2、研修3も同様に3回ずつ実施した。

講　師：鬼本佳代子、神保明香（当館学芸員）

日時および参加人数：12月16日（日）13:30〜15:30　23人
12月18日（火）13:30〜15:30　11人
12月20日（木）13:30〜15:30　14人
（補講）2月17日（日）13:30〜15:30　8人

【研修2】作品を見る練習

内　容：グループにわかれて、作品を見ながらおのおの気づいたことを付箋に書き出し、さらに書き出した事柄について意見交換を行った。その後グループ内で、スクールツアーの練習を行い、お互いに評価しあった。

講　師：鬼本佳代子、神保明香（当館学芸員）

日時および参加人数：2月19日（火）13:30〜15:30　18人
2月21日（木）13:30〜15:30　15人
2月23日（土）10:00〜12:00　15人

【研修3】スクールツアーの練習

内　容：スクールツアーの実践練習を1人ずつ行い、それを他のボランティアおよび学芸員が評価した。

講　師：鬼本佳代子、神保明香　（当館学芸員）

日時および参加人数：3月10日（日）13:30〜15:30　20人
3月13日（水）13:30〜15:30　13人
3月15日（金）13:30〜15:30　11人

新聞ボランティア

平成24年度の登録人数：45人

基本的に日曜日・金曜日を除く毎日、曜日毎に担当する新聞を決め、新聞の切り抜き及びファイル作業などを行った。

月曜日：毎日新聞
火曜日：読売新聞
水曜日：西日本新聞
木曜日：朝日新聞
土曜日：日経新聞

月に1回共同作業日（原則毎月10日前後）を設け、各グループ間での情報交換・意志の統一を図る。訃報記事の整理作業は、月末に各曜日持ち回りで行う。平成14年度から始めた、新聞切り抜きのなかから特に興味深い記事をピックアップしてまとめる「おすすめ新聞美術記事」を、今年度も月1回ペースで作成した（第115号～126第号）。
ボランティアの状況を把握するため、個別面談を3月中随時行った。

2012年

4月10日（火）　共同作業　2月分記事チェック、ファイル（参加11人）
4月 23日（月）　月曜班　「おすすめ新聞美術記事」第115号作成
4月24日（火）　訃報記事整理（参加8人）
5月 9日（水）　共同作業　3月分記事ファイル（参加5人）
5月22日（火）　火曜班　「おすすめ新聞美術記事」第116号作成
5月30日（水）　訃報記事整理（参加5人）
6月14日（木）　共同作業　4月分記事チェック、ファイル（参加5人）
6月27日（水）　水曜班　「おすすめ新聞美術記事」第117号作成
6月28日（木）　訃報記事整理（参加4人）
7月14日（土）　共同作業　5月分記事チェック、ファイル（参加3人）
7月26日（木）　木曜班　「おすすめ新聞美術記事」第118号作成
7月28日（土）　訃報記事整理（参加3人）
8月 20日（月）　共同作業　6月分記事整理（参加9人）
8月25日（土）　土曜班　「おすすめ新聞美術記事」第119号作成
9月 3日（月）　訃報記事整理（参加10人）
9月 11日（火）　共同作業　7月分記事ファイル、チェック（参加8人）
9月 24日（月）　月曜班　「おすすめ新聞美術記事」第120号作成
10月 2日（火）　訃報記事整理（参加9人）
10月10日（水）　共同作業　8月分記事ファイル（参加6人）
10月23日（火）　火曜班　「おすすめ新聞美術記事」第121号作成
10月31日（水）　訃報記事整理（参加4人）
11月 8日（木）　共同作業　9月分記事ファイル（参加5人）
11月28日（水）　水曜班　「おすすめ新聞美術記事」第122号作成
11月29日（木）　訃報記事整理（参加7人）
12月 8日（土）　共同作業　10月分記事ファイル（参加2人）
12月13日（木）　木曜班　「おすすめ新聞美術記事」第123号作成

2013年

1月 21日（月）　共同作業　11月分記事チェック（参加7人）
1月 28日（月）　訃報記事整理（参加7人）
1月26日（土）　土曜班　「おすすめ新聞美術記事」第124号作成
2月 2日（土）　研修会・懇親会（参加18人）
2月12日（火）　共同作業　2012年12月分記事チェック、ファイル（参加6人）
2月 25日（月）　月曜班　「おすすめ新聞美術記事」第125号作成
2月26日（火）　訃報記事整理（参加2人）
3月13日（水）　共同作業　学習会、12月分記事チェック、ファイル（参加11人）
3月26日（火）　火曜班　「おすすめ新聞美術記事」第126号作成
3月27日（水）　訃報記事整理（参加3人）

図書整理ボランティア

平成24年度の登録人数：22人

基本的に火曜日から土曜日までの各曜日午前と午後の班に分かれ、資料整理業務に関する作業を行った。

［活動内容］

■目録カード整理作業

目録カードに標目を記載する。
分類変更分の各目録カードに分類番号と図書記号を書き込む。

■パンフレット資料整理作業

作家や美術館・博物館に関するパンフレット資料への受付印の押印、資料保存用の袋および検索用カードを作成する。

■広報誌整理作業

他機関発行の広報誌を綴じる作業、および広報誌を綴じておくファイルを作成する。

■雑誌記事整理作業

雑誌に掲載されている美術関係の記事内容を種別する。
福岡市美術館の所蔵品、施設、展覧会に関する雑誌掲載記事索引ファイルを作成する。

■紀要・年報類の受入作業

ラベルに該当する機関コードを記入し、資料に添付する。
資料を書架に配架する。

■パソコン入力作業

図録に掲載されている作家名をパソコンに入力する。
パンフレット等の資料を所蔵している作家の情報をパソコンに入力する。

美術家情報整理ボランティア

平成24年度の登録人数：12人

活動日：月～金曜日
各曜日で午前と午後の各班にて作業を行う。
月に1度合同作業日を設け、蓄積されたDM（ダイレクトメール）を効率的に収納するため、保存用の封筒のサイズ交換作業を行う。年に1度、合同作業日に全体ミーティングを行い、活動内容の確認や意見交換を行う。

［活動内容］

■イベントデータベース作成

美術家による活動についてのDM（ダイレクトメール）を内容別に分類し、作家名、展覧会（イベント）名、会期、会場名等の基本情報をデータベース化する。2013年10月23日現在で14,423件のデータを入力済み。

■DMの整理・保管

データ入力の済んだDMを整理し、保管する。収納用封筒のサイズ交換を行い、効率的な収納とスムーズな閲覧（職員による館内使用のみ）に努めている。

出版物

展覧会図録

名称	規格	頁数	編集・発行
ユベール・ロベール―時間の庭―	248×204mm	311	国立西洋美術館（陳岡めぐみ、中田明日佳）、福岡市美術館（三谷理華）、静岡県立美術館（小針由紀隆）、東京新聞（森優美子、山根陽介）編集・国立西洋美術館/西洋美術振興財団、福岡市美術館、静岡県立美術館、東京新聞発行
岡倉天心没後100年記念 近代から現代へ　日本画の巨匠たち 名作でたどる日本美術院のあゆみ	A4変形	152	福岡市美術館、TVQ九州放送、花田伸一編集・福岡市美術館、西日本新聞社、テレビ西日本、TVQ九州放送発行
福岡現代美術クロニクル 1970-2000	A4	204	福岡市美術館（山口洋三、正路佐知子）編集・福岡現代美術クロニクル展実行委員会（福岡市美術館、福岡県立美術館）発行
緑青の美　東南アジアの青銅美術展	A4変形	160	福岡市美術館（後藤恒）編集・福岡市美術館発行
第47回福岡市美術展	A4変形	47	福岡市美術展運営委員会編集・発行

常設展リーフレット

■近現代美術

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
282	吉原英雄の版画	A4	4	小作品室	平成24年 5月29日
283	浜田知明展	A4	6	小作品室	平成24年 7月18日
284	ケーテ・コルヴィッツ展（西本コレクション）	A4	4	小作品室	平成24年 9月 4日
285	画家の自画像	A4	4	小作品室	平成24年10月23日
286	時代で見る美術IV 1930年代の美術	A4	4	小作品室	平成25年 1月22日
287	原健の版画展	A4	4	小作品室	平成25年 4月 9日

常設展リーフレット

■古美術

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
208	新収蔵品展	A4	6	古美術企画展示室	平成24年 4月 3日
田中丸コレクション解説第1号	九州古陶の美　古唐津の味わい	A4	4	古美術企画展示室	平成24年 4月 3日
209	本多コレクション　インドシナ半島の陶磁と交趾焼	A4	4	古美術企画展示室	平成24年 5月29日
210	高僧と名刹	A4	4	松永記念館室	平成24年 5月29日
田中丸コレクション解説第2号	九州古陶の美　茶碗	A4	4	古美術企画展示室	平成24年 7月10日
211	みやこの絵師	A4	4	古美術企画展示室	平成24年 7月10日
212	仙厓展	A4	4	古美術企画展示室	平成24年 9月11日
213	クスマ・コレクションの名品　スマトラとジャワの染織	A4	4	古美術企画展示室	平成24年10月30日

夏休みこども美術館2012　報告書

名称	規格	発行日
夏休みこども美術館2012　報告書	B3四つ折り2種、B4二つ折り3種、DVD1枚、紙ケース1点	平成24年12月25日

福岡市美術館活動の記録

名称	規格	頁数	発行日
平成23年度　福岡市美術館活動の記録	A4	62	平成25年3月15日

福岡市美術館ニュース　エスプラナード

No.	発行日	内容
167	平成24年 4月 1日	悠久の古代を憧憬した、フランス18世紀の画家　ユベール・ロベール　静岡県立美術館学芸員/前福岡市美術館学芸員　三谷理華／平成24年度　福岡市美術館　展覧会スケジュール―特別企画展・常設企画展・常設展（前期：4月～9月）／ごあいさつ　お世話になりました。　渡邊雄二／TOPIC　福岡市美術館の自主企画展がダブルで受賞　「菊畑茂久馬回顧展　戦後／福岡」が、3つの賞を受賞!　学芸員　山口洋三/「藍染の美―筒描」展図録掲載論文が美術館連絡協議会の「優秀論文賞」を受賞!　学芸員　岩永悦子／教育普及より　ギャラリーツアーで美術館を楽しもう!　学芸員　神保明香／学芸員だより　カンボジアー周　クメールブロンズの美を訪ねて　学芸員　後藤　恒／福岡市美術館展覧会スケジュール 4月→6月／福岡市美術館からのお知らせ
168	平成24年 7月 1日	対談　新館長（錦織亮介）×新学芸課長（中山喜一朗）　これからの福岡市美術館に思うこと　構成：学芸員　正路佐知子／岡倉天心没後100年記念　近代から現代へ　日本画の巨匠たち　名作でたどる日本美術院のあゆみ　学芸員　吉田暁子／夏休みこども美術館2012　学芸員　神保明香／福岡ミュージアムウィーク報告　なんのためのミュージアムウィーク?/オーギカナエ親子ワークショップ/バックヤード・ツアー　学芸員　岩永悦子／村上隆講演会を終えて　学芸員　山口洋三／福岡市美術館展覧会スケジュール 7月→9月／福岡市美術館からのお知らせ
169	平成24年10月 1日	大英博物館　古代エジプト展　『死者の書』で読みとく来世への旅　学芸員　岩永悦子／平成24年度　福岡市美術館　展覧会スケジュール―特別企画展・常設企画展・常設展（後期：10月～平成25年3月）／常設展示より　仙厓展　ウフフッ。クスクス。ハハハ。　学芸員　中山喜一朗/西本コレクション展　学芸員山口洋三／所蔵品紹介 No.282 古美術　女性土偶　学芸員　後藤　恒／学芸員だより　夏休みこども美術館2012　こどもワークショップ「月の光をえがいてみよう!」報告　学芸員　神保明香／福岡市美術館　展覧会スケジュール 10→12月／福岡市美術館からのお知らせ
170	平成25年 1月 1日	福岡現代美術クロニクル1970-2000　福岡の現代美術、この三十年を回顧する　学芸員　山口洋三／時を纏い、古色美を放つ。　緑青の美　東南アジアの青銅美術展　学芸員　後藤　恒／お知らせ　つきなみ講座　始まります!／所蔵品紹介 No.283 近現代美術　彫刻と女　松本俊介　学芸員　吉田暁子／学芸員だより　帰ってきた学芸員!?　学芸員　鬼本佳代子／学芸員だより　保存のお仕事　学芸員　渡抜由季／福岡市美術館展覧会スケジュール 1月→3月／福岡市美術館からのお知らせ

紀要の発行

平成24年度、福岡市美術館学芸員の研究成果を広く国内外の研究者や研究施設に向かって発信することを主旨として、「福岡市美術館　研究紀要第1号」を発行した。内容は以下の通りである。

題目	執筆者
福岡市美術館研究紀要創刊にあたって	館長　錦織　亮介
藤田嗣治と筒描	岩永　悦子
三岸好太郎≪海と斜光≫について―イメージの引用という手法を手がかりとして―	吉田　暁子
福岡市美術館所蔵　鷲鳥図と福岡藩十代黒田斉清	錦織　亮介
福岡市美術館「夏休みこども美術館」の歴史的変遷とその効果について	鬼本佳代子
【資料紹介】『上田宇三郎日記』	吉田　暁子
『筑前高取焼の研究』の刊行によせて	尾﨑　直人

館外調査

福岡市美術館では、諸事業の充実を図り、その効果を高めるため、たゆまぬ調査研究活動に努めている。
以下は、平成24年度に館外においておこなった主な調査研究記録である。

日時	目的	訪問先	日数	担当	関連する事業
平成24年5月10～12日	研究発表 （ポスターセッション）	関西大学百周年記念会館	3	吉田暁子	第66回美術史学会全国大会
平成24年8月27日～28日	作品・文献調査	個人コレクター宅 国会図書館	2	岩永悦子	科学研究費助成事業「インド更紗の日本における受容の諸相と展開」

美術資料

平成24年度、福岡市美術館は近現代美術資料を78点、古美術資料を35点収集した。

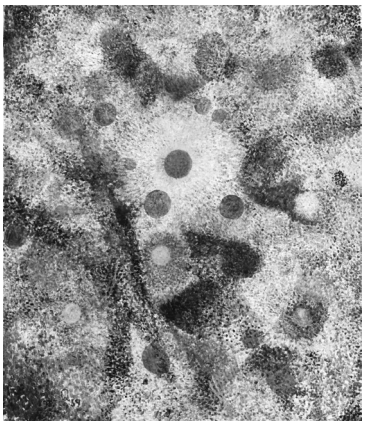
近現代美術

所蔵品番号順であり、研究資料は末尾に記載

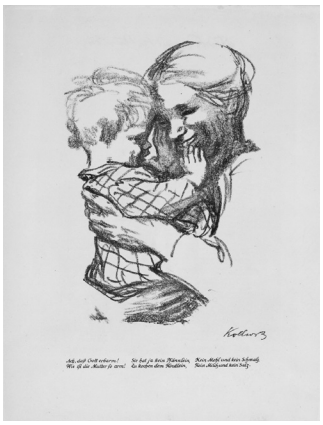
種別	所蔵品番号	作者名	作品名	寸法（cm）	制作年	素材・技法	収集法	備品受入番号
油彩画	1-A-608	柳　幸典	二つの中国	51.5×35.0（国旗） 35.0×35.0 （中央ケース）	1997	蟻、着色した砂、 アクリル板、 ビニールチューブ	購入	42402734
油彩画	1-A-609	菊畑　茂久馬	月光　十四	259.5×194.5	1988（加筆1989、 2000）	油彩、木・画布	寄贈	42411063
油彩画	1-A-610	菊畑　茂久馬	月光　十五	259.5×194.5	1988（加筆2000）	油彩、木・画布	寄贈	42411064
油彩画	1-A-611	菊畑　茂久馬	月宮　九	330×200.8	1989（加筆1998）	油彩、木、布・画布	寄贈	42411065
油彩画	1-A-612	菊畑　茂久馬	月宮　十一	330×200.8	1989（加筆1998）	油彩、木、布・画布	寄贈	42411066
油彩画	1-A-613	菊畑　茂久馬	海 102	117×80.5	1990（加筆1993）	油彩・画布	寄贈	42411069
油彩画	1-A-614	菊畑　茂久馬	海道　十	260×194	1990（改作1997, 2003）（加筆2010）	油彩・画布	寄贈	42411068
油彩画	1-A-615	菊畑　茂久馬	海道　四	260×194	1990（改作1997）	油彩・画布	寄贈	42411067
油彩画	1-A-616	菊畑　茂久馬	舟歌　一	260×194	1993（加筆1997, 2002）	油彩・画布	寄贈	42411070
油彩画	1-A-617	菊畑　茂久馬	舟歌　七	260×194	1993（加筆1997, 2002）	油彩・画布	寄贈	42411071
油彩画	1-A-618	菊畑　茂久馬	舟歌　十一	260×194	1993（加筆1997, 2002）	油彩・画布	寄贈	42411072
油彩画	1-A-619	菊畑　茂久馬	天河　二	259.2×388.6	1996（加筆1998 以降）	油彩、蜜蝋・画布	寄贈	42411073
油彩画	1-A-620	柳　幸典	非武装地帯	各75.5×50.5（国旗） 15.5×45.0×45.0 （中央ケース）	1995	蟻、着色した砂、 アクリル板、 ビニールチューブ	購入	42402733
油彩画	1-A-621	菊畑　茂久馬	春風　五	194×130.5	2011	油彩・画布	寄贈	42411074
油彩画	1-A-622	菊畑　茂久馬	春風　六	194×130.5	2011	油彩・画布	寄贈	42411075
油彩画	1-A-623	古賀　耕児	ギターの構成	162.6×130.7	1953	油彩・画布	寄贈	42411100
油彩画	1-A-624	古賀　耕児	断層	212.4×137.6	1959	油彩・画布	寄贈	42411101
油彩画	1-A-625	古賀　耕児	仮名「人」	117.2×91.7	2004	油彩・画布	寄贈	42411102
油彩画	1-A-626	田中　繁吉	机に倚りて	90.4×116.7	1922	油彩・画布	寄贈	42411104
油彩画	1-A-627	田中　繁吉	裸婦	99.8×72.4	1926	油彩・画布	寄贈	42411103
油彩画	16-A-202	靆嘔	Study for“Fluxus　33” or “New World”	105.9×65.6	1963	油彩・画布	寄贈	42411137
油彩画	16-A-203	泉　茂	メカニスト	80.2×60.5	1955	油彩・画布	寄贈	42411138
油彩画	16-A-204	瑛九	あかつき（仮）	53×45.5	1959	油彩・画布	寄贈	42411139
油彩画	16-A-205	藤崎　孝敏	題不詳	50×73.2	不詳	油彩・画布	寄贈	42411140
油彩画	16-A-206	舟山　一男	異国の尼僧「聖夜」	116.8×91	不詳	油彩・画布	寄贈	42411141
油彩画	16-A-207	クロード・ワイズバッシュ	小演奏会	89.3×116.2	不詳	油彩・画布	寄贈	42411134
油彩画	16-A-208	クロード・ワイズバッシュ	ポリチネル	162.2×130.1	不詳	油彩・画布	寄贈	42411135
油彩画	16-A-209	クロード・ワイズバッシュ	レダ	200.4×200.6	不詳	油彩・画布	寄贈	42411136
版画	1-E-958	菊畑　茂久馬	魚時計	30.2×18.6	1974	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411076
版画	1-E-959	菊畑　茂久馬	版画集　天動説　其の一 波の足場	31.4×21	1974	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411077
版画	1-E-960	菊畑　茂久馬	版画集　天動説　其の一 大陸棚（一）	40×30	1974	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411078
版画	1-E-961	菊畑　茂久馬	版画集　天動説　其の一 大陸棚（二）	32.5×17.5	1974	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411079
版画	1-E-962	菊畑　茂久馬	海難審判	32.6×24.6	1974	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411080
版画	1-E-963	菊畑　茂久馬	天動説	39.8×30.2	1974	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411081

種別	所蔵品番号	作者名	作品名	寸法(cm)	制作年	素材・技法	収集法	備品受入番号
版画	1-E-964	菊畑　茂久馬	版画集　天動説　其の一 デルタ曳き	25.2×22.5	1974	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411082
版画	1-E-965	菊畑　茂久馬	版画集　天動説　其の一 偽証	25.4×19.6	1974	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411083
版画	1-E-966	菊畑　茂久馬	版画集　天動説　其の一 O氏像(一)	40×29.8	1974	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411084
版画	1-E-967	菊畑　茂久馬	版画集　天動説　其の一 O氏像(二)	23.2×13	1974	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411085
版画	1-E-968	菊畑　茂久馬	版画集　天動説　其の一 緩衝器	33×12	1974	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411086
版画	1-E-969	菊畑　茂久馬	版画集　天動説　其の一 魚弾頭	34.3×19.2	1974	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411087
版画	1-E-970	菊畑　茂久馬	版画集　天動説　其の一 海鼠型錨	40×30	1974	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411088
版画	1-E-971	菊畑　茂久馬	版画集　天動説　其の一 三層の海	29.4×23.6	1974	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411089
版画	1-E-972	菊畑　茂久馬	版画集　天動説　其の一 鯉割り	34×22.2	1974	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411090
版画	1-E-973	菊畑　茂久馬	版画集　天動説　其の一 測量棹	28.2×19.8	1974	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411091
版画	1-E-974	菊畑　茂久馬	版画集　天動説　其の一 ポケットへ	32.8×26.2	1974	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411092
版画	1-E-975	菊畑　茂久馬	オブジェデッサン 三人の友	39×56	1979	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411095
版画	1-E-976	菊畑　茂久馬	オブジェデッサン ハサミの行進	41×53	1979	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411096
版画	1-E-977	菊畑　茂久馬	圧搾塔	39.8×53	1979頃	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411093
版画	1-E-978	菊畑　茂久馬	球体のダンス	48×39.5	1979頃	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411094
版画	1-E-979	菊畑　茂久馬	オブジェデッサン 2つの球体	50×65	1980	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411097
版画	16-E-1455	畦地　梅太郎	雪のなかの男	45.3×33.3	1958	木版・紙	寄贈	42411128
版画	16-E-1456	畦地　梅太郎	若者	39.5×29.5	1978	木版・紙	寄贈	42411129
版画	16-E-1457	畦地　梅太郎	火の山の思案	39×28.8	1980	木版・紙	寄贈	42411130
版画	16-E-1458	斎藤　清	会津の家(F)	38.1×52.9	1973	木版・紙	寄贈	42411131
版画	16-E-1459	斎藤　清	Winter in Aizu	37.5×52.8	1974	木版・紙	寄贈	42411132
版画	16-E-1460	浜口　陽三	17のさくらんぼ	24.4×51.5	1967	カラーメゾチント・紙	寄贈	42411133
版画	16-E-1461	ケーテ・コルヴィッツ	子を腕に抱く母親	29.5×20	1916	リトグラフ・紙	寄贈	42411111
版画	16-E-1462	ケーテ・コルヴィッツ	版画集『戦争』第二葉 「志願兵」	35×49.5	1921-22	木版・紙	寄贈	42411112
版画	16-E-1463	李　禹煥	採石場の想い出 1	53.4×68.2	1984	リトグラフ・紙	寄贈	42411113
版画	16-E-1464	李　禹煥	島より　5	76.3×52	1989	カーボンランダム・ ドライポイント・紙	寄贈	42411114
版画	16-E-1465	李　禹煥	島より　7	51.8×68.5	1989	カーボンランダム・ ドライポイント・紙	寄贈	42411115
版画	16-E-1466	アントニ・タピエス	『物質のまなざし』より [1]	75×55	1975	リトグラフ・紙	寄贈	42411116
版画	16-E-1467	アントニ・タピエス	『物質のまなざし』より [2]	55×75.4	1975	リトグラフ・紙	寄贈	42411117
版画	16-E-1468	アントニ・タピエス	『物質のまなざし』より [3]	75.1×55	1975	リトグラフ・紙	寄贈	42411118
版画	16-E-1469	アントニ・タピエス	『物質のまなざし』より [4]	75.2×55.1	1975	リトグラフ・紙	寄贈	42411119
版画	16-E-1470	アントニ・タピエス	『物質のまなざし』より [5]	74.9×55	1975	リトグラフ・紙	寄贈	42411120

種別	所蔵品番号	作者名	作品名	寸法(cm)	制作年	素材・技法	収集法	備品受入番号
版画	16-E-1471	アントニ・タピエス	『物質のまなざし』より［6］	75×55	1975	リトグラフ・紙	寄贈	42411121
版画	16-E-1472	アントニ・タピエス	『物質のまなざし』より［7］	54.9×75	1975	リトグラフ・紙	寄贈	42411122
版画	16-E-1473	アントニ・タピエス	『物質のまなざし』より［8］	75×55	1975	リトグラフ・紙	寄贈	42411123
版画	16-E-1474	アントニ・タピエス	『物質のまなざし』より［9］	75×55	1975	リトグラフ・紙	寄贈	42411124
版画	16-E-1475	アントニ・タピエス	『物質のまなざし』より［10］	75×55	1975	リトグラフ・紙	寄贈	42411125
版画	16-E-1476	アントニ・タピエス	『物質のまなざし』より［11］	54.9×75	1975	リトグラフ・紙	寄贈	42411126
版画	16-E-1477	アントニ・タピエス	『物質のまなざし』より［12］	75×55	1975	リトグラフ・紙	寄贈	42411127
素描（デッサン）	16-D-44	木下　晋	母の孤独	190×100	2008	鉛筆・紙	寄贈	42411144
素描（デッサン）	16-D-42	木下　晋	祝福	190×100	2007	鉛筆・紙	寄贈	42411142
素描（デッサン）	16-D-43	木下　晋	闇の眺望	190×100	2008	鉛筆・紙	寄贈	42411143
研究資料	15-E-37	菊畑　茂久馬	オブジェデッサン（試作1）	43.1×58	1979	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411098
研究資料	15-E-38	菊畑　茂久馬	オブジェデッサン（試作2）	46.6×61.6	1979	シルクスクリーン・紙	寄贈	42411099



瑛九《あかつき（仮）》



ケーテ・コルヴィッツ《子を腕に抱く母親》

古美術

所蔵品番号順であり、研究資料は末尾に記載

種別	所蔵品番号	産地（作者）	作品名	法量(cm)	時代	品質	収集法	備品受入番号
染織品	14-Hd-0308	インド	花文様更紗	経371.8　緯113.2	17～18世紀	木綿	購入	42402735
染織品	14-Hd-0309	インド	メダリオン文様更紗	経191.4　緯147.4	17～18世紀	木綿	購入	42402737
染織品	14-Hd-0311	インド	メダリオン花唐草文様更紗	経252.3　緯171.2	18世紀	木綿	購入	42402736
絵画	14-B-0044	（仙厓義梵）	布袋図	縦95.0　横25.0	江戸時代	紙本墨画	寄贈	42411056
彫刻	21-G-0271	チベット	塼仏　銅色山浄土図	縦37.5　横26.5	17～18世紀	粘土焼成	寄贈	42411025
彫刻	21-G-0272	モンゴル	塼仏　十一面八臂観音像	縦9.3　横7.1	17～18世紀	粘土焼成	寄贈	42411026
彫刻	21-G-0273	モンゴル	塼仏　僧形坐像	縦8.6　横6.4	17～18世紀	粘土焼成	寄贈	42411027

種別	所蔵品番号	産地(作者)	作品名	法量(cm)	時代	品質	収集法	備品受入番号
彫刻	21-G-0274	モンゴル	塼仏　ターラー像	縦8.4　横5.7	17～18世紀	粘土焼成	寄贈	42411028
彫刻	21-G-0275	モンゴル	塼仏　仏坐像	縦10.4　横6.6	17～18世紀	粘土焼成	寄贈	42411029
彫刻	21-G-0276	モンゴル	塼仏　多尊像	縦10.6　横8.5	17～18世紀	粘土焼成	寄贈	42411030
彫刻	21-G-0277	モンゴル	塼仏　三尊像	縦8.6　横7.3	17～18世紀	粘土焼成	寄贈	42411031
彫刻	21-G-0278	モンゴル	塼仏　三尊像	縦8.5　横7.4	17～18世紀	粘土焼成	寄贈	42411032
彫刻	21-G-0279	モンゴル	塼仏　仏坐像	縦11.8　横7.3	グプタ時代 6～7世紀	粘土焼成	寄贈	42411033
彫刻	21-G-0280	モンゴル	塼仏　仏坐像	縦11.6　横6.8	グプタ時代 6～7世紀	粘土焼成	寄贈	42411034
彫刻	21-G-0281	モンゴル	青銅男神像	高さ6.0　幅5.0	11～12世紀	青銅鋳造	寄贈	42411035
彫刻	21-G-0282	モンゴル	青銅製　仏塔飾り金具	高さ15.4　幅10.5	12～14世紀	青銅鋳造	寄贈	42411036
彫刻	21-G-0283	モンゴル	瓦当	高さ13.9　幅13.6	15～17世紀	粘土焼成	寄贈	42411037
彫刻	21-G-0284	モンゴル	青銅製　仏坐像	高さ7.0　幅2.2	17～18世紀	青銅鋳造	寄贈	42411038
彫刻	21-G-0285	モンゴル	塼仏　仏坐像	高さ15.3　幅8.9	5～6世紀	粘土焼成	寄贈	42411039
彫刻	21-G-0286	モンゴル	画像塼	縦18.2　横22.5	前3～後1世紀	粘土焼成	寄贈	42411040
彫刻	21-G-0287	モンゴル	六仏坐像塼	高さ7.0　幅28.0　奥行14.0	4～5世紀	粘土焼成	寄贈	42411041
彫刻	21-G-0288	モンゴル	六仏坐像塼	高さ8.3　幅26.2　奥行8.2	4～5世紀	粘土焼成	寄贈	42411042
彫刻	21-G-0289	モンゴル	三仏坐像塼	高さ15.0　幅25.8　奥行11.0	5～6世紀	粘土焼成	寄贈	42411043
彫刻	21-G-0290	モンゴル	塼仏　仏立像	縦7.5　横5.7	7世紀	粘土焼成	寄贈	42411044
彫刻	21-G-0291	モンゴル	四仏坐像塼	高さ8.3　幅26.2　奥行8.2	7～8世紀	粘土焼成	寄贈	42411045
彫刻	21-G-0292	モンゴル	四仏坐像塼	高さ7.5　幅26.0　奥行8.5	7～8世紀	粘土焼成	寄贈	42411046
彫刻	21-G-0293	モンゴル	塼仏　仏坐像	縦6.8　横6.7	7～8世紀	粘土焼成	寄贈	42411047
彫刻	21-G-0294	モンゴル	白磁　騎獅文殊像	高さ9.8　長さ6.5	11～13世紀	磁器	寄贈	42411048
彫刻	21-G-0295	モンゴル	小型仏塔(泥塔)	高さ7.0　径4.3	鎌倉時代	粘土焼成	寄贈	42411053
陶磁器	14-Ha-0187	モンゴル	黒釉櫛目文大壺	高さ56.6　胴径36.2　底径21.5	11～12世紀	陶器	寄贈	42411055
美術資料		モンゴル	石造菩薩立像	高さ41.5　幅20.5	東魏時代	石造	寄贈	42411049
美術資料		モンゴル	飛天像塼	縦17.3　横26.4	北朝時代	粘土焼成	寄贈	42411050
美術資料		モンゴル	飛天像塼	縦17.5　横16.8	北朝時代	粘土焼成	寄贈	42411051
美術資料		モンゴル	塼仏　仏三尊像	縦22.5　横15.5	唐時代	粘土焼成	寄贈	42411052
美術資料		モンゴル	小型仏塔　部分	高さ5.8　幅4.5	時代不明	粘土焼成	寄贈	42411054

メダリオン花唐草文様更紗
インド　18世紀

白磁　騎獅文殊像
中国　11～13世紀

塼仏　十一面八臂観音像
モンゴル　17～18世紀

図書・映像資料

図書関係受入状況

単位（冊）

		和書	洋書
購入	図書	46	17
	図録	1	2
	年報・紀要	0	0
寄贈	図書	160	36
	図録	481	11
	年報・紀要	264	0
製本資料		0	0
雑誌		360	96
合計		1,312	162
総計			1,474

映像資料関係受入状況

単位（点）

	購入	寄贈
ビデオ	0	0
レーザーディスク	0	5
コンパクトディスク	0	1
DVD	5	1
マイクロフィルム	0	0
合計		12

修　復

近現代美術

種別	所蔵品番号	作者名	作品名	寸法(cm)	制作年	素材・技法	数量
日本画等	1-B-84	吉村　忠夫	地獄変	117×144.6	1950	絹本着色・掛幅	1幅

古美術

種別	所蔵品番号	産地(作者)	作品名	法量(cm)	制作年	品質	数量
書跡	6-I-2	(道潜)	妙総大師道潜墨蹟(与淑通教授尺牘)	28.4×47.6	北宋時代11～12世紀	紙本墨画	1幅
絵画	14-B-22	(伝宋郭熙)	山水行旅図	73.4×41.5	李朝前期16世紀	絹本墨画	1幅

貸　出

近現代美術

会期開始日の順

種別	作者名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	会場	会期
油彩等	靉嘔	絵物語 Ms. and Mr. Rainbow のうち No.. 1　Ms. and Mr. Rainbow	2-A-1	靉嘔 ふたたび虹のかなたに展	東京都現代美術館	平成24年 1月10日～ 5月30日
油彩等		絵物語 Ms. and Mr. Rainbow のうち No2 Gymnastic A or After	2-A-2			
油彩等		絵物語 Ms.and Mr. Rainbow のうち No3 Gymnastic B or After 7 Years	2-A-3			
油彩等		絵物語 Ms. and Mr. Rainbow のうち No4　デブ	2-A-4			
油彩等		絵物語 Ms. and Mr. Rainbow のうち No5　波の中	2-A-5			
油彩等		絵物語 Ms. and Mr. Rainbow のうち No6　X and Mr.	2-A-6			
油彩等		絵物語 Ms. and Mr. Rainbow のうち No7　X' and Ms.	2-A-7			
油彩等		絵物語 Ms. and Mr. Rainbow のうち No8　X and X'	2-A-8			
油彩等		絵物語 Ms. and Mr. Rainbow のうち No9　X' and X	2-A-9			
油彩等		絵物語 Ms. and Mr. Rainbow のうち No10　Ms. or Mr. Rainbow X	2-A-10			
版画		ムーブメント B	2-E-429			
油彩等	サルヴァドール・ダリ	ポルト・リガトの聖母	3-A-405	ダリ：人ー美術家	ヴィットーリオ・エマヌエーレ2世記念堂 (イタリア、ローマ市)	平成24年 3月10日～ 6月30日
油彩等	須田　国太郎	水浴	2-A-32	須田国太郎展 没後50年に顧みる	神奈川県立近代美術館(葉山) 茨城県近代美術館 石川県立美術館 鳥取県立博物館 京都市美術館 島根県立美術館	平成24年 4月 7日～ 5月27日 平成24年 7月21日～ 8月26日 平成24年 9月 1日～10月14日 平成24年10月20日～11月25日 平成24年12月1日～平成25年2月3日 平成25年 2月15日～ 4月 1日

種別	作者名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	会場	会期
油彩等	松本　竣介	彫刻と女	2-A-39	生誕100年 松本俊介展	岩手県立美術館 神奈川県立近代美術館葉山 宮城県美術館 島根県立美術館 世田谷美術館	平成24年 4月14日～ 5月27日 平成24年 6月 9日～ 7月22日 平成24年 8月 4日～ 9月17日 平成24年 9月29日～11月11日 平成24年11月23日～平成25年1月14日
油彩等	マルク・シャガール	空飛ぶアトラージュ	3-A-87	シャガール ー愛をめぐる追想ー	岡山県立美術館 岐阜県美術館	平成24年 7月13日～ 8月26日 平成24年 9月 5日～10月28日
日本画等	東山　魁夷	山湖	7-B-43	旅の環ー東山魁夷と巡り合う風景ー	香川県立東山魁夷せとうち美術館	平成24年9月15日～11月4日
油彩等 油彩等	寺田　政明	昆蟲〈化石〉 夜の樹木	1-A-114 1-A-115	生誕100年 寺田政明展	北九州市立美術館分館	平成24年10月 6日～11月11日
油彩等 油彩等 油彩等 油彩等 油彩等	児島　善三郎 中村　研一 中村　研一 中村　研一 中村　研一	鏡 婦人像 秋花 静物 庭	1-A-40 1-A-119 1-A-122 1-A-131 1-A-144	郷土の美術をみる･しる･まなぶvol.4	福岡県立美術館	平成24年10月 6日～11月25日
油彩等 油彩等	桂　ゆき 桜井　孝身	積んだり リンチ	1-A-173 1-A-353	美術にぶるっ! ベストセレクション日本近代美術の100年 第二部 実験場 1950s	東京国立近代美術館	平成24年10月16日～平成25年1月14日
油彩等	絹谷　幸二	サンドラ嬢の肖像	2-A-72	古希記念特別展 絹谷幸二～豊穣なるイメージ	奈良県立美術館	平成24年10月20日～12月16日
	ルイーズ・ニーヴェルスン	無題	3-G-38	BLACKS ルイーズ・ニーヴェルスン｜アド・ラインハート｜杉本博司展	DIC川村記念美術館	平成25年 2月 2日～ 4月14日

古美術

会期開始日の順

種別	産地（作者）	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	会場	会期
絵画重文		泰西風俗図屏風	4-B-98	南蛮美術の光と影 ー泰西王侯騎馬図屏風の謎ー	サントリー美術館 神戸市立博物館	平成23年10月26日～12月 4日 平成24年 4月21日～ 6月 3日
漆工重文 その他		重要文化財　波螺鈿鞍 琵琶「青山」	4-Hb-197 4-Hf-20	NHK大河ドラマ50年 特別展 平清盛	江戸東京博物館 神戸市立博物館 広島県立美術館 京都府京都文化博物館 （貸出は神戸市立博物館、広島県立美術館のみ）	平成24年 1月 2日～ 2月 5日 平成24年 2月25日～ 4月 8日 平成24年 4月21日～ 6月 3日 平成24年 6月16日～ 7月17日
漆工 書跡重美	（狩野探幽、狩野永真、狩野洞雲） （観世暮閑）	牡丹文蒔絵太鼓 謡本	4-Hb-21 4-I-34	特別企画展 能のかたち NIPPON 美の玉手箱	福岡市博物館	平成24年 9月15日～11月11日
絵画		松島図屏風	4-B-101	特別展 江戸の旅ーたどる道、えがかれる風景ー	仙台市博物館	平成24年 9月28日～11月11日
絵画重美	（玄証）	白描図像	6-B-17	清雅なる仏画ー白描図像が生み出す美の世界ー	大和文華館	平成24年10月 7日～11月11日
書跡重文	（空海）	金剛般若経開題残巻	6-I-1	特別展 宸翰　天皇の書ー御手が織りなす至高の美ー	京都国立博物館	平成24年10月13日～11月25日
書跡重文 絵画重美	（清拙正澄） （宮本武蔵）	清拙正澄墨蹟 布袋見闘鶏図	6-I-6 6-B-29	美の宴ー東洋の古美術、印象派と古地図が織りなす珠玉の世界ー	和泉市久保惣記念美術館	平成24年10月14日～12月2日
陶磁器 陶磁器 陶磁器 陶磁器 書跡 陶磁器	建窯 鈞窯 （千利休） 高取焼 白旗山窯	禾目天目茶碗 玳玻盞天目茶碗 澱青釉鉢 唐物茶壷　銘「蓮華王」 千利休消息　嶋竹の文 掛分面取半筒茶碗	20-Ha-149 6-Ha-73 20-Ha-159 4-Ha-4 6-I-19 14-Ha-82	平成24年度企画展 喫茶の世界ー お茶と日本文化ー	大分県立歴史博物館	平成24年10月19日～11月25日
絵画 絵画 絵画 絵画 絵画 絵画	（斎藤秋圃画 仙がい賛） （仙厓義梵） （仙厓義梵） （仙厓義梵） （仙厓義梵） （仙厓義梵）	恵比寿図 子孫繁昌図 あくび布袋図 犬図 猫に紙袋図 文殊師利菩薩図	12-B-3 9-B-24 9-B-5 9-B-7 9-B-49 9-B-65	かわいい江戸絵画展	府中市美術館	平成25年 3月 9日～ 5月 6日

展示室

※観覧料の記載のないものは無料
※濃い色の日付は休館日

4月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	㉚	5/1
	曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
特別展示室A																		第65回 二紀展 絵画（油彩、アクリル等） 彫刻 150点 観覧者数：3,241人 観覧料 大人800円 高大生600円 小人無料														
特別展示室B																																
市民ギャラリーA				第43回 日展福岡展 日本を代表する総合美術展 日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書 約470点 観覧料 大人1,100円 高大生700円 小人無料 観覧者数：21,360人														江 海 個展 中国伝統壁画技法 36点 観覧者数：764人								第96回 二科展 絵画、彫刻、デザイン、写真 約600点 観覧料 大人800円 高大生500円 小人無料 観覧者数：5,628人							
市民ギャラリーB																		平成23年度 日本習字 伊都の里研修所作品展 書 約130点 観覧者数：567人														
市民ギャラリーC																		第13回 土のちから展 陶作品、オブジェ、花器等 約100点 観覧者数：971人														
市民ギャラリーD																		第10回 生（いき）展 写真パネル 約100点 観覧者数：746人														

5月

室名	日	1	2	③	④	⑤	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	6/1	2	3	4
	曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
特別展示室A			九州・山口・沖縄 代表 書作家展 書 80点 観覧者数：1,474人						第65回 示現会展 油絵、水彩画 約200点 観覧料（特B室は無料） 大人700円 学生400円 小人無料 観覧者数：7,959人							第79回 独立展 油彩画等 約150点 観覧料 大人800円 学生600円 小人無料 観覧者数：1,566人							モダンアート展・福岡 油絵、彫刻、版画、写真等 160点 観覧料：大人700円、学生400円 観覧者数：1,205人							第71回 ㈳創元展 同時開催 創元会西日本美術展 油絵、アクリル画、水彩画、 版画 約250点 観覧料 大人800円 学生400円 小人無料 観覧者数：3,648人				
特別展示室B			福岡・USオークランド 姉妹都市締結50周年 記念芸術交流展 水彩画、写真 38点 観覧者数：858人																					二代 半泥子の 焼物と古陶名陶 焼物、書 約120点 観覧者数：1,045人													
市民ギャラリーA			氣～心平氣和 氣功 書画～周玉鑫の世界 書、水墨画 約70点 観覧者数：580人						第39回 龍飛書展 書（漢字、調和体） 約50点 観覧者数：771人							「フォトクラブ大野城」 写真展 風景ネイチャフォト等 約40点 観覧者数：782人							第2回 彩遊会作品展 墨彩画 約50点 観覧者数：818人							福岡を撮って しまおう写真展 写真 30点 観覧者数：849人				
市民ギャラリーB			瑞の会 軸、額、色紙等 約100点 観覧者数：924人						第10回 こぶし会日本画展 日本画 32点 観覧者数：1,121人							墨心会 水墨画、はがき絵 210点 観覧者数：841人							ポーセラーツ& 白磁ペイント作品展 陶磁器 約400点 観覧者数：675人							ツレ展 油絵、水彩画、陶器、彫刻等 約50点 観覧者数：697人				
市民ギャラリーC			OZC福岡支部 第2回作品展 風景、動植物等の写真 約50点 観覧者数：686人						李安子・李華書芸 会・総合展 漢字ハングル水墨画 68点 観覧者数：951人							川瀬輝彦写真展 写真 約70点 観覧者数：719人							聊心会書作展 額、軸、屏風等の書作品 約60点 観覧者数：1,065人							グループわらべ 30回記念展 水彩画、パステル画等 約80点 観覧者数：1,127人				
市民ギャラリーD			牧瀬英喜写真展 ベトナムスケッチ「黄色の街」ホイアン パステルトーンのカラー写真 60点 観覧者数：1,082人						第17回 新作能面展 能面 約60面 観覧者数：1,059人							晨彩会展 日本画 35点 観覧者数：837人							蘆洲会書展 観覧者数：1,017人							和田木彫教室 生徒作品展示会 木彫刻 約150点 観覧者数：1,899人				

6月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1	2
	曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
特別展示室A		第71回㈳創元展 同時開催 創元会 西日本 美術展				第108回 太平洋展 第47回 西日本展 油絵、水彩画、版画、染織、彫刻 約350点 観覧料 大人800円 学生600円 小人無料 観覧者数：4,399人														ユベール・ロベール展 ※詳細はp.6を参照													
特別展示室B													渥美幸裕個展 油絵 約130点 観覧者数：502人						全西部 行動展 油彩画 80点 観覧者数：801人							古賀耕児遺作展 油絵 約50点 観覧者数：1,789人								
市民ギャラリーA		福岡を撮ってしまおう写真展				NHK文化センター楽しい水彩画教室展 水彩画 観覧者数：1,062人							日本画「翔の会」作品発表 日本画　18点 観覧者数：892人						第7回 ひと葉の会 日本画展 草花を中心とした日本画　32点 観覧者数：837人							九州大学写真部 六月展 写真　約40点 観覧者数：469人								
市民ギャラリーB		ツレ展				現代押し花アート展 押し花額、スタンド等 100点 観覧者数：966人							第三回 慎思会書作展 書（篆書・隷書・楷書等） 約120点 観覧者数：1,631人						どんぐりの会 水彩画展 水彩画、パステル画、木炭画等　約60点 観覧者数：726人							無思考の形 彫刻 30点 観覧者数：282人								
市民ギャラリーC		グループわらべ30回記念展				城南文化サークル 近藤えみ教室 油絵、水彩画、アクリル画等　100点 観覧者数：1,316人													火曜日の仲間展 油絵 30点 観覧者数：683人							グループ創展 油彩画、水彩画 観覧者数：453人								
市民ギャラリーD		和田木彫教室 生徒作品 展示会				第7回 はがき絵 加呂教室作品展 水彩画約　90点 観覧者数：1,151人							福岡女学院大学生涯学習センター写真講座 受講生第二回写真展「九州の風」 風景、花、動物等の写真　46点 観覧者数：1,097人						花の会福岡 第6回 写真展 花及び風景写真　約50点 観覧者数：927人							第44回 てん・ぐるうぷ展 油彩画、水彩画、色鉛筆画 約140点 観覧者数：745人								

7月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	⑯	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
特別展示室A				ユベール・ロベール展 ※詳細はp.6を参照																												
特別展示室B				第21回 わだち展 油絵、水彩画 約30点 観覧者数：1,165人							第8回 橋本勝 油彩展 サイエンスとの共生を求めて 油彩画　約20点 観覧者数：1,850人								第26回 工芸美術 知新会展 美術工芸品　約60点 観覧者数：1,245人							伊藤忠雄作品展 油彩画 約30点 観覧者数：1,511人							
市民ギャラリーA				山本陽一作品展 アクリル画、写真 約70点 観覧者数：487人							フォト百道浜写真展 写真 約50点 観覧者数：648人								おしゃれ表装 創作掛軸、パネル表装 60点 観覧者数：567人							第35回 西日本版画協会展 木版、孔版、銅版　約60点 観覧者数：1,076人							
市民ギャラリーB				山内秀道仏画展 仏画 約30点 観覧者数：419人							Kei展覧会『なぜ…』 油絵 約10点 観覧者数：340人								『彩（いろどり）』写真展 写真 60点 観覧者数：630人							第2回 薫園書友の会作品展 軸装、扁額、色紙等　約160点 観覧者数：794人							
市民ギャラリーC				第52回 西日本フォトコンテスト 写真　約120点 観覧者数：874人							書と佛像彫刻展 米寿記念 観覧者数：627人								第18回 福岡写稜会写真展 「山を想うひととき」 写真　50点 観覧者数：907人							第21回 鎮西フォトクラブ福岡写真展 風景写真等　約60点 観覧者数：1,178人							
市民ギャラリーD				YKアートコミューン展 アクリル絵画、コラージュ作品 約80点 観覧者数：421人							海と船の美術展 海と船を主題とした絵画 約60点 観覧者数：761人								能許楽居窯作陶会 15周年作陶展 陶芸作品　約150点 観覧者数：770人							第8回 「昭和フォトサークル」作品展 風景、人物、動物等の写真　約50点 観覧者数：1,047人							

8月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	9/1	2	3
	曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
特別展示室 A								第26回 日洋展 油彩画　145点 観覧料 大人800円、高大生400円 観覧者数：2,264人													岡倉天心没後100年記念 近代から現代へ 日本画の巨匠たち ―名作でたどる日本美術院のあゆみ― ※詳細はp.7を参照													
特別展示室 B		佐伯和子展 絵画、オリジナルジュエリー 約250点 観覧者数：561人						第33回 グループ青展 彫刻、絵画等　約40点 観覧者数：572人							滝口文吾作品展 （生命体シリーズ） 油絵　約20点 観覧者数：1,048人							二元会九州支部展 油彩、パステル、水彩等 約60点 観覧者数：3,407人						グループ テオ展 油彩、アクリル画、彫刻等 約50点 観覧者数：2,531人					
市民ギャラリー A		海・part one 風景写真 約40点 観覧者数：555人						智子と知子 自己紹介展 平面作品、立体作品　77点 観覧者数：538人							堀江康敬 守護仏展 仏像を最新のCGで表現　約40点 観覧者数：715人							高千穂夜神楽への郷愁 ～高千穂神楽33番～ 油彩画、水彩画、アクリル画等　約70点 観覧者数：678人						第42回 青像グループ写真展 肖像写真　約55点 観覧者数：861人					
市民ギャラリー B		第16回 健筆会書作展 漢字書　約50点 観覧者数：619人						風景写真展 水の詩季彩 写真　約45点 観覧者数：674人							藤井良治展 油彩画、水彩画　約40点 観覧者数：964人							第5回 旧帝国大学合同書展 書、篆刻、屏風等 約100点 観覧者数：632人						グループ・グループ展 油絵、紙、立体作品等 約180点 観覧者数：983人					
市民ギャラリー C		第13回 「木曜会」作品展 風景、花等の写真　30点 観覧者数：863人						第29回 観生会展 書 約40点 観覧者数：398人							妖怪展「妖の園」外伝 ～桃源楼にて～ PG&CGアート、ペン画等　約40点 観覧者数：831人																			
市民ギャラリー D		35周年 南蛮フォトクラブ写真展 写真　約60点 観覧者数：1,020人						脇田鉄男とファミリー米寿展 油彩画、水彩画　50点 観覧者数：797人							野口正幸絵画教室 合同生徒作品展 油彩画、水彩画、パステル画　約80点 観覧者数：822人							グループももの樹 作品展 水彩画　約70点 観覧者数：763人						第28回 紫彩展 油絵、水彩画、彫刻等 約50点 観覧者数：858人					

9月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	⑰	18	19	20	21	㉒	23	24	25	26	27	28	29	30	10/1
	曜	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
特別展示室 A		岡倉天心没後100年記念 近代から現代へ 日本画の巨匠たち ―名作でたどる日本美術院のあゆみ― ※詳細はp.7を参照																														
特別展示室 B					鴻ノ巣書作展 書、パネル、額、軸 約120点 観覧者数：1,462人							こころ模様 二人展 油絵 約60点 観覧者数：4,526人									平成24年 景柳会書作展 書　約90点 観覧者数：3,641人						日米作家国際交流展 2012 油絵、アクリル画、版画、彫刻 観覧者数：686人					
市民ギャラリー A					第24回 サムホール展 油絵、水彩画、パステル画　372点 観覧者数：1,906人							墨友会 水墨画展 水墨画、墨彩画 約40点 観覧者数：1,388人									第2回 フォトクラブ写真展 写真　約40点 観覧者数：822人						立花会油絵展 油絵　約40点 観覧者数：605人					
市民ギャラリー B					第8回 みづたまの会展 水彩画　59点 観覧者数：1,200人							世界児童画展 福岡・佐賀展 水彩画　約200点 観覧者数：1,843人									九州藍筍会展 書 約70点 観覧者数：813人						PCF写真展 風景、スナップ写真 約50点 観覧者数：710人					
市民ギャラリー C					第17回 さくら会水彩画展 透明水彩画　66点 観覧者数：1,323人							僕らの世界Ⅱ 写真 60点 観覧者数：1,263人									博美会油絵展 油絵、具象絵画 約40点 観覧者数：970人						九州支部合同作品展 木目込人形 観覧者数：916人					
市民ギャラリー D					九州一先会 会員展 屏風、軸、額等 約100点 観覧者数：1,170人							第86回 チャーチル会博多絵画展 油彩画、水彩画、版画　約50点 観覧者数：1,667人									彩の会水彩画展 水彩画 約70点 観覧者数：1,141人						第13回 ラ・ビダ会、 イーゼル会合同絵画展 油彩画　約50点 観覧者数：651人					

10月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	⑧	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	11/1	2	③	4
	曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
特別展示室A			大英博物館 古代エジプト展 ※詳細はp.8を参照																																	
特別展示室B			第44回 九州かな書道協会展 書 約330点 観覧者数：3,012人								榊孝陽・晃弘兄弟展 （石を描く・石を撮る） 日本画、写真　約40点 観覧者数：3,038人						第17回 福岡市美術連盟 会員展 日本画、水彩画、版画、油絵、写真、陶器、彫刻、グラフィックデザイン等 約180点 観覧者数：3,818人								第40回 鶴陽美術展 洋画、日本画、書、彫刻、染織工芸、陶芸 観覧者数：4,744人							第22回 ぐるーぷ“街”風景画展 水彩画等　約120点 観覧者数：2,668人				
市民ギャラリーA											現代水墨 墨友会 日本画　約40点 観覧者数：630人												第42回 福岡市高齢者美術展 洋画、日本画、書、写真、工芸 約160点 観覧者数：1,546人							第32回 南区美術展 絵画、彫刻、書、工芸、写真 観覧者数：1,471人				
市民ギャラリーB											第22回 福岡フォトフレンド さくら写真展 風景、生活、自然等をテーマとする約90点 観覧者数：750人																							
市民ギャラリーC											第18回 星華中国水墨画作品展 水墨画、墨彩画　約50点 観覧者数：664人																							
市民ギャラリーD											グループめだか 第7回 色鉛筆画作品展 色鉛筆画　約50点 観覧者数：751人												第7回 ぶらり葦ペンの会作品展 葦ぺん画　約100点 観覧者数：1,386人							第18回 学校飼育動物スケッチコンクール 観覧者数：885人				

11月

室名	日	1	2	③	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1	2	3
	曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
特別展示室A		大英博物館 古代エジプト展 ※詳細はp.8を参照																																
特別展示室B		第22回 ぐるーぷ“街” 風景画展					第10回 N548展 油彩画、版画、インスタレーション等 40点 観覧者数：2,085人							第40回記念 古光書道会作品展 書　約60点 観覧者数：2,301人								第24回 彩舟会展 油彩画 約100点 観覧者数：5,477人							二科会写真部 九州・沖縄地区公募展 全紙パネル　約150点 観覧者数：595人						
市民ギャラリーA																												泰山社選抜展 書、水墨画 80点 観覧者数：651人						
市民ギャラリーB		第32回 南区美術展					福岡コアサイドアート 美術展2012 油彩画、水彩画、書、陶芸、写真等 観覧者数：1,505人							第33回 中央区市民文化祭 美術作品展 洋画、日本画、書、写真、工芸等 観覧者数：1,214人								第28回 城南区市民アート展 絵画、書、写真、グラフィックデザイン、工芸等 約200点 観覧者数：1,598人							健脳リハビリテーション 子じか会高齢者作品展 壁面構成、毛筆、手工芸品等　約100点 観覧者数：807人						
市民ギャラリーC																												第42回 游展 油彩画 約50点 観覧者数：695人						
市民ギャラリーD		第18回 学校飼育動物 スケッチ コンクール					一の会作品展 油彩画、水彩画、デッサン等 約60点 観覧者数：818人							第35回 福岡市退職 小学校長会作品展 水彩画、書、陶芸、木工等　約80点 観覧者数：1,137人								日本画玄霜会 設立50周年記念展 日本画　約40点 観覧者数：1,446人							第43回 福岡市医師会 文化祭美術展 油彩画、アクリル画、写真、陶芸等　43点 観覧者数：833人						

12月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
特別展示室A					第64回 毎日書道展九州展 書　約1,040点 （前期） 漢字・大字　書・前衛書 （後期） かな・近代詩文書・篆刻・刻字 観覧料 大人500円 観覧者数：3,724人							第67回 行動展 油彩画、彫刻 約190点 観覧料 大人800円 高大生600円 観覧者数：1,519人							第38回 西日本書美術展 書 約1,000点 観覧者数：3,383人												
特別展示室B																																
市民ギャラリーA					版画工房WA作品展 版画 約70点 観覧者数：599人							九州大学美術部師走展 油彩画、水彩画 約20点 観覧者数：473人							石耀展 書（漢字、調和対、仮名） 約50点 観覧者数：651人													
市民ギャラリーB					グループ・水脈展 水彩画、アクリル画 14点 観覧者数：610人							第6回 慧川会展 書、軸、装と額、水墨画 約70点 観覧者数：675人							松園吉美油彩展 （喜寿を記念して） 油彩画　約35点 観覧者数：951人													
市民ギャラリーC					華の会展 油彩、水彩、パステル画 約40点 観覧者数：607人							油彩 中島 晃・悦子夫婦展 油絵　35点 観覧者数：560人							ももちパレス 洋画 エル サバド 油彩画　約35点 観覧者数：517人													
市民ギャラリーD					第12回 ロータリージュニア美術展 日本画、水彩、油彩、版画等　約30点 観覧者数：637人							福岡大学書道部展 書 約40点 観覧者数：421人							福岡県高等学校芸術・文化連盟 福岡地区写真展 写真　約90点 観覧者数：731人													

1月

室名	日	①	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	⑭	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2/1	2	3	4
	曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
特別展示室A						福岡現代美術クロニクル1970−2000 ※詳細はp.10を参照																																
特別展示室B						CAF展 （CONTEMPORARY ART OF FUKUOKA） 油絵、アクリル画、水彩画、ミクストメディアの平面作品等　約35点　観覧者数：1,308人											第48回 全九州新春書道展 半切軸層　約400点 観覧者数：1,358人							第61回 福岡市中学校書作品展 書（毛筆、硬筆）　約800点 観覧者数：1,037人							ファインアート展 水彩画、版画、陶器、木工作品等 約1,000点 観覧者数：1,126人						
市民ギャラリーA						第61回 福岡県小学校児童画展 水彩画・版画 834点 観覧者数：4,461人			野芥公民館 水彩画教室展 水彩画　30点 観覧者数：755人							福岡風雲会 書作展 書　約25点 観覧者数：489人							第25回 卒業制作展 書、日本画、油絵、彫刻、金工、染色、デザイン 約280点 観覧者数：1,412人							九州産業大学付属 九州高等学校デザイン科 第47期生卒業制作展 平成24年度授業作品展 ビジュアル・デザイン、油彩、彫刻、陶芸、映像メディア表現等 約500点 観覧者数：1,326人						
市民ギャラリーB									「神話の姫神（新話の女神）」 色鉛筆とパステル画 31点 観覧者数：580人							福岡市中学校美術部合同作品展 各学校の共同制作スケッチ大会の入選作品 約100点 観覧者数：645人																							
市民ギャラリーC									須川英之写真展 『韓の涼風』 韓国の風景、民族行事、生活風俗　40点 観覧者数：1,101人																												
市民ギャラリーD									渡辺蘆洲親子展 書、額装、軸等 約60点 観覧者数：933人							八仙の歩いた道 陶器（水差、茶入、茶碗） 77点 観覧者数：518人																							

2月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	⑪	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	3/1	2	3
	曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
特別展示室A		福岡現代美術クロニクル1970−2000 ※詳細はp.10を参照																		西日本新聞書道之友展2012 漢字、かな、詩文書、臨書 約1,000点 観覧者数：2,378人							第66回 二紀展 絵画、彫刻 約150点 観覧料 大人700円 高大生700円 観覧者数：3,267人					
特別展示室B		ファインアート展				日本水彩久留米支部展 水彩画、アクリル画等 約60点 観覧者数：1,561人														第12回 福岡市東区美術協会会員展 絵画、書、彫刻、写真等　約60点 観覧者数：1,746人												
市民ギャラリーA		九州産業大学付属九州高等学校デザイン科第47期生卒業制作展 平成24年度授業作品展				SEIEN写真倶楽部作品展 写真　60点 観覧者数：1,135人																							第15回 絵画造形教室おそらのぞうさん作品展 水彩画、油絵、オブジェ等　約180点 観覧者数：710人				
市民ギャラリーB						公益社団法人日本広告写真家協会九州支部展 写真　約80点 観覧者数：1,110人								第34回読売学生書展 書 1,500点 観覧者数：1,119人						第62回福岡市中学校美術展 絵画、デザイン、彫刻、工芸、陶芸、立体作品 約4,000点 観覧者数：5,168人							グループ季楽水彩画展 写実静物画、風景画　約60点 観覧者数：1,377人					
市民ギャラリーC						第3回 土陽の会 油絵 約30点 観覧者数：963人																							水の会 かな書展 パネル、掛け軸、額、屏風等 約50点 観覧者数：1,039人					
市民ギャラリーD						グループ・シェイク展 絵画、彫刻、写真、工芸等 約100点 観覧者数：902人																							第45回 卒業書作展 書 約60点 観覧者数：1,019人					

3月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	⑳	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	4/1	2	3	4
	曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
特別展示室A		第66回二紀展				九州産業大芸術学部大学院芸術研究科卒業制作・修了制作秀作展 観覧者数：1439人							第47回福岡市美術展（前期） 洋画、彫刻、工芸 ※詳細はp.11を参照							第47回福岡市美術展（後期） 日本画、書、写真、デザイン ※詳細はp.11を参照						日展準備			第44回 日展 日本の美を代表する総合美術展 日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書 約450点 観覧料 大人1,100円 高大生700円 観覧者数：23,366人 ※会期は3月28日（木）～4月14日（日）					
特別展示室B						第26回 蘭亭書道展 漢字、かな、篆刻、調和体等 約2,000点 観覧者数：2,795人																														
市民ギャラリーA		第15回 絵画造形教室おそらのぞうさん作品展				第19回福岡市書道協会展 書（軸、額、帖等） 約300点 観覧者数：1,826人																														
市民ギャラリーB		グループ季楽水彩画展																																		
市民ギャラリーC		水の会かな書展																																		
市民ギャラリーD		第45回卒業書作展																																		

講堂等

	講堂		教養講座室		実技講座室		版画印刷工房室		合計	
	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数
4月	3	351	5	162	15	152	2	5	25	670
5月	4	525	7	235	10	104	1	2	22	866
6月	7	886	10	269	6	27	3	12	26	1,194
7月	6	1,152	9	167	8	79	3	10	26	1,408
8月	3	382	4	137	4	62	2	9	13	590
9月	4	699	6	226	10	101	3	10	23	1,036
10月	9	1,146	10	235	11	103	3	10	33	1,494
11月	12	1,410	9	887	11	298	5	13	37	2,608
12月	5	354	12	376	11	82	7	14	35	826
1月	10	1,789	6	210	8	64	2	5	26	2,068
2月	6	854	17	638	13	266	2	5	38	1,763
3月	9	2,740	11	385	12	108	3	11	35	3,244
合計	78	12,288	106	3,927	119	1,446	36	106	339	17,767

入 場 者 数 一 覧

年度別観覧者数

「第46回福岡市美術展」の開催数および観覧者数は「貸館展」に含まれる。

年度	常設展		特別企画展		貸館展		総数	
	開催日数（日）	観覧者数（人）	開催数（回）	観覧者数（人）	開催数（回）	観覧者数（人）	開催数（回）	観覧者数（人）
54	94	70,234	1	86,194	18	128,642	19	285,070
55	306	127,584	3	45,666	91	467,240	94	640,490
56	307	99,287	5	35,372	139	686,602	144	821,261
57	306	93,883	3	24,453	161	563,586	164	681,922
58	307	96,723	3	137,402	183	592,022	186	826,147
59	306	105,537	3	68,172	176	721,050	179	894,759
60	305	102,115	2	116,531	171	781,973	173	1,000,619
61	306	97,962	4	147,682	184	608,150	188	853,794
62	308	96,088	3	73,478	215	609,570	218	779,136
63	306	95,550	3	77,223	207	611,398	210	784,171
1	306	94,044	2	121,795	174	437,776	176	653,615
2	306	91,584	3	64,216	216	526,516	219	682,316
3	306	88,929	4	134,771	216	491,771	220	715,471
4	307	102,301	5	103,004	235	565,751	240	771,056
5	306	81,142	3	87,242	225	565,280	228	733,664
6	248	61,022	1	23,192	147	538,275	148	622,489
7	307	68,221	3	136,406	209	500,231	212	704,858
8	305	79,077	3	65,171	206	422,735	209	566,983
9	304	63,976	4	290,151	207	464,723	211	818,850
10	306	67,859	4	62,981	189	439,040	193	569,880
11	307	58,030	4	284,403	212	451,619	216	794,052
12	305	41,584	4	106,730	204	341,378	208	489,692
13	307	49,243	4	58,028	195	290,399	199	397,670
14	304	52,912	4	75,472	203	308,245	207	436,629
15	307	57,449	4	330,467	214	351,668	218	739,584
16	306	47,998	3	437,739	207	373,377	210	859,114
17	306	80,109	4	197,258	208	296,472	212	573,839
18	306	95,579	4	245,463	193	328,743	197	669,795
19	306	70,327	4	77,238	188	283,587	192	431,152
20	306	67,813	3	139,064	204	314,565	207	521,442
21	307	62,036	4	149,327	174	249,017	178	460,380
22	306	68,327	3	101,432	187	304,052	190	473,811
23	303	106,044	3	309,525	193	302,740	196	718,309
24	307	75,943	4	167,904	195	276,328	199	520,175
累計	10,135	2,716,512	115	4,574,382	6,347	15,202,093	6,462	22,492,987

24年度月別観覧者数

月	常設展		特別企画展		貸館展		総数	
	開催日数（日）	観覧者数（人）	開催数（回）	観覧者数（人）	開催数（回）	観覧者数（人）	開催数（回）	観覧者数（人）
4	26	2,710	0	0	6	30,504	6	33,214
5	26	4,175	0	0	27	31,578	27	35,753
6	26	4,178	1	4,293	19	24,578	20	33,049
7	26	8,472	0	13,316	25	18,933	25	40,721
8	27	10,715	1	12,038	23	20,804	24	43,557
9	26	9,792	0	27,722	20	31,064	20	68,578
10	26	8,878	1	42,257	13	21,934	14	73,069
11	26	11,630	0	62,343	14	23,155	14	97,128
12	24	1,919	0	0	15	17,494	15	19,413
1	23	3,313	1	3,609	14	15,026	15	21,948
2	24	4,954	0	2,326	14	20,061	14	27,341
3	27	5,207	0	0	5	21,197	5	26,404
累計	307	75,943	4	167,904	195	276,328	199	520,175

読書室利用者数一覧

小数点以下切捨

月	月総数（人）	開館日数（日）	一日平均（人）	年累計（人）	総累計（人）
4	502	26	19	502	398,458
5	463	26	17	965	398,921
6	382	26	14	1,347	399,303
7	606	26	23	1,953	399,909
8	866	27	32	2,819	400,775
9	609	26	23	3,428	401,384
10	574	26	22	4,002	401,958
11	635	26	24	4,637	402,593
12	322	23	14	4,959	402,915
1	425	23	18	5,384	403,340
2	443	24	18	5,827	403,783
3	491	27	18	6,318	404,274
年総数	6,318	306	20		

名　　簿

美術館協議会委員

50音順・敬称略・肩書きは平成24年度のもの

会長	松尾　孝司	西日本新聞報道センター都市圏総局記者
副会長	龍　　秀美	秀巧社印刷株式会社　クリエイティブディレクター
学校教育関係者	梅崎　　薫	花畑中学校長
	大石　京子	東住吉小学校長
	米丸　政文	福岡西陵高等学校長
社会教育関係者	辻　　芳子	福岡市社会教育委員
	松田　瑞恵	福岡市PTA協議会副会長
	藤本　昌代	福岡市老人クラブ連合会理事
	渡邉　敬一	福岡市青少年団体連絡会議理事
学識経験者	石川　正知	（財）福岡文化財団専務理事事務局長
	植野かおり	立花家史料館史料室長
	後小路雅弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
	京谷　啓徳	九州大学大学院人文科学研究院准教授
	後藤　新治	西南学院大学国際文化学部教授
	原田　真紀	ママとこどものアートじかんプロジェクト実行委員長
	古野　靖弘	（社）福岡県美術協会監事
	室岡　祐司	（株）JTB九州地域活性化事業推進室主任研究員
	山田　　彰	福岡市美術展運営委員会副委員長

収集審査員

50音順・敬称略・肩書きは平成24年度のもの

近現代美術	尾﨑信一郎	鳥取県立博物館副館長兼美術振興課長
	西村　勇晴	北九州市立美術館長
	古田　　亮	東京芸術大学大学美術館准教授
古美術	菊竹　淳一	九州大学名誉教授
	原田あゆみ	九州国立博物館研究員
	日高　　薫	国立歴史民俗博物館教授
	吉田　宏志	京都府立大学名誉教授

職員

館長	錦織　亮介		学芸課長	中山喜一朗
副館長	甲木　辰利		学芸係長	岩永　悦子
運営課長	合屋　四郎			後藤　　恒
運営係長	江原加代子		主任学芸主事	山口　洋三
	木道　　繁			正路佐知子
	石田　昌平	（H24.9.30まで）		吉田　暁子
	河野　律子			渡抜　由季　（H24.09.01から）
	福井　誠治	（H24.10.01から）	主任学芸主事	鬼本佳代子　（H24.09.01から）
主査（広報・事業調整専任）	鴨川　直史			神保　明香
主査（美術館大規模改修担当）	山下　　毅	（H24.10.01から）	嘱託員	尾﨑　直人
嘱託員	中山　哲紀		嘱託員	ギャレット三宅万里子
			嘱託員	中原千代子
			嘱託員	中務　美紀

平成24年度
福岡市美術館活動の記録

編集・発行　福岡市美術館
〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
TEL：092-714-6051
印　　刷　城島印刷株式会社
発行年月日　2014年2月28日

©福岡市美術館　2014年

福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM